

2. 第2次短期調査帰国報告会資料 / ミニッツ

2 - 1 調査・協議項目

2 - 1 - 1 プロジェクト戦略

(1) プロジェクト戦略

(2) プロジェクト実施体制

1) C/P 機関(NAFED、IETC、RETPC)の能力、プロジェクトにおける役割、機関相互の関係

2) 予算措置

3) C/P

(3) 協力体制

2 - 1 - 2 プロジェクトの基本計画

(1) 上位目標

(2) プロジェクト目標

(3) 成果と活動

(4) 投 入

1) 日本側投入

a) 専門家

b) 研修員受入れ

c) 機材供与

2) インドネシア側投入

a) 要員配置

b) プロジェクト予算

c) 土地、建物、施設

(5) 外部条件の分析と外部要因リスク

(6) 事前の義務及び必要条件

2 - 1 - 3 計画管理諸表

(1) 活動計画(PO)

(2) 暫定実施計画(TSI)

(3) 技術協力計画(TCP)

2 - 1 - 4 プロジェクトの総合的实施妥当性

(1) 効 果

a) 政策的インパクト

2 - 2 調査団員構成

- b) 制度的インパクト
 - c) 社会的インパクト
 - 裨益集团の特徴
 - 裨益集团の規模
 - 便益の内容
 - d) 技術的インパクト
 - 技術移転対象者の数
 - 技術移転の内容
 - e) 経済的インパクト
- (2) 目標達成見込み
- (3) 効率性
- (4) 妥当性
- (5) 自立発展性

2 - 2 調査団員構成

氏名	分野	所属
高間 英俊	団長・総括	国際協力事業団 鉱工業開発協力部 鉱工業開発協力第一課 課長
深津 猛夫	技術移転計画	財団法人太平洋人材交流センター 国際交流2部 プロジェクト担当部長
朝倉 俊雄	貿易情報	日本貿易振興会 神戸貿易情報センター 所長
徳村 朝昭	遠隔研修技術	財団法人日本国際協力センター 沖縄支所 教育メディア技術インストラクター
岡山 明日香	協力企画	国際協力事業団 鉱工業開発協力部 鉱工業開発協力第一課 職員
持田 智男	計画分析	オーバーシーズ・プロジェクト・マネージメント・コンサルティング(株) 開発部長

2 - 3 調査日程

2 - 3 調査日程

日順	月日	曜日	日程			
1	10月29日	月	計画分析 10:55 成田発(JL725) 16:05 ジャカルタ着			
2	10月30日	火	現地コンサルタントとの打合せ (ニーズ調査結果分析)			
3	10月31日	水	貿易情報、協力企画	技術移転計画		
			10:55 成田発(JL725) 16:05 ジャカルタ着	12:10 大阪発(JL713) 19:45 ジャカルタ着	現地コンサルタントとの打合せ (ニーズ調査結果分析)	
4	11月1日	木	9:30 貿易セクター人材育成計画の専門家、JICA事務所との打合せ 13:30 NAFED(CEIT)の業務の現状調査			
5	11月2日	金	10:00 JETRO事務所訪問(情報収集) 13:30 NAFED(CEIT)の業務の現状調査			
6	11月3日	土	団内打合せ、調査結果整理			
7	11月4日	日	団長	技術移転計画、貿易情報、協力企画、計画分析	遠隔研修技術	
			10:55 成田発(JL725) 16:05 ジャカルタ着	団内打合せ、調査結果整理	8:50 沖縄発(NU182) 10:35 大阪着 12:10 大阪発(JL713) 19:45 ジャカルタ着	
8	11月5日	月	9:00 NAFED、IETCとの協議(プロジェクトのフレームワーク、協力内容、基本計画、PDM) 16:00 JICA事務所打合せ 17:00 大使館表敬		NAFED/CEITの機材調査	
9	11月6日	火	9:00 NAFED、IETCとの協議(地方とのMOUの内容、プロジェクト実施体制)		IETCの機材調査	
			13:00 NAFED、IETCとの協議(投入計画、機材計画、TSI)			
10	11月7日	水	団長、技術移転計画、貿易情報、協力企画、計画分析	遠隔研修技術、杉山専門家		
			9:00 NAFED、IETCとの協議(プロジェクトドキュメント、TCP)	機材、回線事情の調査		
			10:00 関連政府機関、KADIN、組合などとの会議 13:30 NAFED、IETCとの協議(プロジェクトドキュメント、TCP(つづき))			
11	11月8日	木	AM ミニッツ案作成 13:00 NAFED、IETCとの協議(ミニッツ案)		機材、回線事情の調査 17:00 ジャカルタ発(GA320) 18:20 スラバヤ着	
12	11月9日	金	9:30 ミニッツ署名 11:00 MOIT計画局報告 13:30 BAPPENAS報告 14:30 EKUIN報告 15:00 JICA事務所報告		スラバヤにおける回線事情、地方センターサイトの必要工事内容、機材レイアウト案検討	
			団長、貿易情報 23:30 ジャカルタ発(JL726)			
13	11月10日	土	甲村専門家、技術移転計画、協力企画、計画分析	8:35 成田着	調査結果取りまとめ	
			団内打合せ、調査結果整理			
14	11月11日	日	10:00 ジャカルタ発(GA306) 11:20 スラバヤ着	調査結果取りまとめ		
			団内打合せ、調査結果整理			
15	11月12日	月	東ジャワ州政府との協議(MOUの内容確認、工事内容、機材レイアウト案)		遠隔研修技術	
					18:00 スラバヤ発(GA323) 19:20 ジャカルタ着 21:20 ジャカルタ発(JL714)	
16	11月13日	火	東ジャワ州政府との協議(活動計画、短期専門家派遣要望) 18:00 スラバヤ発(GA323) 19:20 ジャカルタ着		6:00 大阪着 9:25 大阪発(NH491) 11:35 沖縄着	
			計画分析	技術移転計画		協力企画
			21:20 ジャカルタ発(JL714)	23:30 ジャカルタ発(JL726)		
17	11月14日	水	情報収集、プロジェクトドキュメント改訂	6:00 大阪着	8:35 成田着	
18	11月15日	木	情報収集、プロジェクトドキュメント改訂			
19	11月16日	金	プロジェクトドキュメント説明 23:30 ジャカルタ発(JL726)			
20	11月17日	土	8:35 成田着			

2 - 4 主要面談者

2 - 4 主要面談者

インドネシア側

(1) 経済調整担当大臣府(EKUIN)

Dr. Ir. Dipo Alam Deputy Minister for Industry, Trade and Empowerment of SME

Mr. Sulistyono Assistant Deputy Minister for Industry Facilities and Promoting Export

Mr. Abdul Salam Assistant Deputy Minister for Non Agricultural Industry, Tourism and Services

(2) 国家開発企画庁(BAPPENAS)

Mr. Adhi Putra Alfian Deputy Director for Trade Development, Directorate of Industry, Trade and Tourism

Mr. Noor Arifin Muhammad Head of Section for Trade Institution Development

(3) 商工省(MOIT)

Drs. Mardjoko Siswanto Head of Foreign Aid Division, Bureau of Planning

(4) 輸出振興庁(NAFED)

Mr. Gusmardi Bustami Chairman

Mr. Fauzi Aziz Secretary

Ms. Nus Nuzulia Ishak Director, Center for Export Information and Training(CEIT)

Mr. Sjahril Sjafril Head of Information Services and Export Training Division, CEIT

Mr. Edison Hutabarat Head of Information Network and Database Div., CEIT

Mr. Gunawan Sanusi Head of Collecting and Processing Data Div., CEIT

Mr. Ari Satria Head of Cooperation Sub-division, Secretariat of NAFED

Mr. Sjahril Nazar Head of Database Sub-division, CEIT

Mr. Sahala Aritonang Head of Administration Sub-division, CEIT

Ms. Dwi Rahayu Head of Collecting Data Sub-division, CEIT

Ms. Sri Maryuni Head of Information Services Sub-division, CEIT

Mr. Bambang Purnomo Staff in CEIT

(5) 貿易研修センター(IETC)

Ms. Ratna Djuwita Director

Mr. Maulani Head of Cooperation and Promotion Section

Ms. Utari Kurnianingsih Export Marketing Training

Drs. Wawan Sudarmawan	Instructor
Ms. Susijanti	Consultation Coordinator
Mr. Ariful Fuadhi	Instructor

(6) 東ジャワ州(スラバヤ)

Mr. Fachrul A. R.	Head of Industry and Trade Office(Dinas)
Mr. Ir. Cipto Budiono	Vice Head, Industry and Trade Office(Dinas)
Drs. Dhidhi Teguh Wiyono	Head, Toreign Trade Division, Industry and Trade Office (Dinas)
Ms. Liri L. Idham	Chief Promotion & Foreign Cooperation Section, Foreign Trade Division, Industry and Trade Office(Dinas)

日本側

(1) 在インドネシア日本大使館

福岡 徹	一等書記官
------	-------

(2) JETRO ジャカルタセンター

加藤 裕之	所 長
寺西 武英	次 長
中村 芳生	次 長
佃 壮夫	シニアディレクター

(3) インドネシア貿易セクター人材育成計画

甲村 昌二	長期専門家(国際貿易)
杉山 茂樹	短期専門家(貿易研修計画)

(4) JICA 個別専門家

永江 勉	工業開発振興アドバイザー
------	--------------

(5) JICA インドネシア事務所

神田 道男	所 長
安藤 寿郎	企画調査員

2 - 5 調査・協議結果

2 - 5 調査・協議結果

2 - 5 - 1 プロジェクト名

「Project for Establishment and Capacity Building of Regional Export Training and Promotion Centers」

2 - 5 - 2 プロジェクト実施体制

(1) C/P 機関

C/P 機関は、NAFED、IETC、及び地方4か所(スラバヤ、メダン、マカッサル、バンジャルマシム)に設立される「貿易研修・振興センター(RETPC)」とする。

NAFEDからは、本プロジェクトの下でNAFEDの貿易振興機能全体を強化するための協力を得たい旨の要望があった。これに対して調査団からは、プロジェクトの目的はRETPCを通じて地方の中小企業の輸出支援のために貿易研修及び情報・振興サービスを提供することであることを説明し、NAFEDへの協力はプロジェクトの目的達成のために必要な範囲に限ることとした。具体的には、NAFEDの貿易情報・研修センター(CEIT)が担当している貿易情報提供サービス及び貿易振興サービスの一部を、IETCの貿易研修サービスと併せて地方に展開していくうえで必要な協力を行うこととした。

貿易情報提供サービスに関して、NAFEDからは情報収集、分析・加工、発信の一連のサイクル全般にわたっての支援の要請がなされた。しかし調査中に訪問したJETROジャカルタ事務所からの情報によれば、既にある程度の貿易関連情報はNAFEDのCEIT以外の部局(海外市場開発センター)に蓄積されていると思われる。また近年はインターネット上で海外の市場情報を含む様々な情報が公開されている。このため、プロジェクトの活動とは別にNAFED内で情報共有のためのタスクフォースを作って情報の死蔵を防ぐこと、及びインターネット上で公開されているものも含めた既存の情報の活用を調査団から提案し、インドネシア側の理解を得た。

(2) ジャカルタと地方との関係

ジャカルタにおいては、NAFED(CEIT)とIETCが合同で「プロジェクトチーム」を結成し、ここに両機関からC/Pを配置する。「プロジェクトチーム」はIETC内に設置され、NAFED(CEIT)からは数名がC/Pとして「プロジェクトチーム」に物理的に移動する。「プロジェクトチーム」の構成は以下のとおり計画されている。

- ・プロジェクトディレクター：NAFED 長官
- ・副プロジェクトディレクター：NAFED 次官
- ・プロジェクトマネージャー：CEIT 局長
- ・副プロジェクトマネージャー：IETC 所長
- ・C/P：NAFED より8名、IETC より19名

・ 事務スタッフ：IETC より 3 名

プロジェクト実施にあたっては、NAFED 長官と各州知事が、「プロジェクトチーム」と RETPC の責任分担を記載した覚書(MOU)に署名する。各 RETPC には、「プロジェクトチーム」から RETPC の所長を含む 3 名のマネージャーが派遣される。これらマネージャーは RETPC のマネジメント、地方スタッフの教育・訓練、「プロジェクトチーム」との連絡調整などを行う計画となっている。

(3) 関係機関との協力

ジャカルタでは合同調整委員会(JCC)を、地方ではアドバイザリーコミッティーを設け、ここでそれぞれの関係政府機関及び民間(商工会議所、組合など)からのプロジェクトに対する助言を得ることとする。

2 - 5 - 3 プロジェクト基本計画(マスタープラン)

(1) 上位目標

「RETPC を設立した地方における中小企業の輸出を振興する」

(2) プロジェクト目標

「(スラバヤ、メダン、マカッサル、バンジャルマシンの)RETPC が各地方の中小企業に対して貿易研修、貿易情報、及び貿易振興サービスを提供する」

(3) 成果

成果 1：「RETPC が「プロジェクトチーム」と連携して貿易研修、情報、振興サービスを各地方において実施するための体制が確立される」

成果 2：「RETPC の C/P が貿易研修の運営管理手法を習得する」

成果 3：「RETPC と「プロジェクトチーム」の C/P が、遠隔研修技術を含めた貿易研修のための IT 活用技術を習得する」

成果 4：「RETPC と「プロジェクトチーム」の C/P が、貿易情報、振興サービスのための IT 活用技術を習得する」

成果 5：「RETPC の C/P が貿易情報、振興サービス(常設展示、図書館運営、オフライン情報の発信)の運営管理手法を習得する」

成果 6：「「プロジェクトチーム」の C/P が RETPC を他の地方にも設立・運営していくためのノウハウを身につける」

2 - 5 - 4 プロジェクトにおける日本側の協力内容

(1) 貿易研修

貿易研修については、研修コースの計画・立案、実施、評価の一連のサイクルに係るノ

ノウハウを、IETC が主体となって地方センターに技術移転する。

インドネシア側からは、RETPC との間でテレビ会議システムを利用した遠隔研修を行うために必要な機材の供与及び技術指導に対する支援要請があった。しかし通信費が高額（500km 以上は1時間当たり 32 万 7,600 ルピア）であり、計画されているとおり年間 20 回以上の遠隔研修コースを実施した場合、通信費が相当の金額となるため、インドネシア側の継続的な経費負担能力が懸念される。このため、協力1年目はとりあえず機材をレンタルしてジャカルタ - スラバヤ間で試行し、その結果を見て機材を供与するかどうかを決めることとした。

また、上記と併せて研修教材のデジタル化を進め、これを CD-ROM などの形で地方に配布して研修レベルの均一化を図るとともに、将来的なウェブベースドトレーニング(WBT)の実施に備えることとする。

(2) 貿易情報提供及び貿易振興サービス

2000 年に JICA が実施した開発調査「裾野産業フォローアップ調査フェーズ 2(輸出振興)」においても指摘されているとおり、輸出振興のために企業が強く求めているのはマーケット情報である。地方センターでは上記貿易研修に加え、マーケット情報の提供を中心に貿易振興サービスも提供することとし、企業の実際的なニーズに応えることをめざす。具体的には、以下の協力を実施する。

- 1) 企業がインターネットも含めた既存の情報ソースから必要な情報を得ることができるよう環境を RETPC 内に整備する。
- 2) NAFED のホームページを拡充し、インターネット上での貿易情報、振興サービスを強化する(ビジネスマッチング、バーチャル展示場など)。
- 3) 短期専門家派遣により、日本における貿易情報、振興サービスの事例を紹介する。

当該分野での協力について、NAFED(CEIT)からは商品分析及び市場分析に関する技術移転が強く望まれた。しかし、NAFED のスタッフが商品ごと、市場ごとの知識を身につけ、企業のニーズに応えたサービスを実施できるように育成することは本プロジェクトの目的に沿うものではなく、また相当の期間及び投入を要すると考えられることから、これらはプロジェクトでは扱わないこととした。

なお、前回調査時に強い要望のあった地方における中小企業向けコンサルテーションについては、本プロジェクトとは別にシニアボランティアの地方への派遣による対応を検討している旨、言及した。

2 - 5 - 5 地方センター

本プロジェクトでは、設立地選定のために日本側が設定した 6 つのクライテリア(センターの

組織的安定性、財政的安定性、人材、建物・設備、センター設立に対するニーズ、ITインフラ)に照らして妥当と判断された4か所(スラバヤ、メダン、マカッサル、バンジャルマシン)に対して協力を行う。ただし4か所に対する協力は一律とはせず、各地のニーズや関係機関の関与を考慮し、地方ごとに柔軟に対応することとする。

地方センターに対する協力は、インドネシア側(IETC)が主体となって行う形を基本とし、日本側はこれを側面支援する。具体的には、パソコンなどの機材の供与、短期専門家による技術指導、優秀な地方スタッフの本邦研修への受入れなどの協力を行う。

2 - 5 - 6 協力期間

協議の結果、協力期間は4年とし、1年目にスラバヤ、2年目にメダン及びマカッサル、3年目にバンジャルマシンへの協力を行うこととした。

2 - 5 - 7 日本側投入

(1) 専門家

長期専門家としては、チーフ・アドバイザー及び業務調整員の2名をジャカルタ駐在として派遣する。ただし必要に応じて、もう1名の派遣を検討する。

短期専門家は以下の分野について派遣する。

- 1) ホームページ拡充指導
- 2) データベース拡充指導
- 3) 地方でのセミナー
- 4) 図書館運営管理
- 5) カタログ作成
- 6) 展示技術
- 7) 貿易振興のための出版物作成
- 8) その他

(2) C/P 研修

地方センターのスタッフの育成は、ジャカルタでの集合研修及びNAFED/IETCから地方に派遣されるマネージャーの指導により、基本的にインドネシア国内で行う。本邦研修は必要性を十分検討し、フェーズ1、フェーズ2で扱わなかった新規技術のうち、本邦でなければ研修できない内容に限って実施する。地方センターからも優秀なスタッフについては必要に応じて本邦研修に受け入れることとする。

(3) 機 材

IETCには、本プロジェクトとは別にJ-Netの遠隔研修機材が据え付けられる予定のため、

本プロジェクトでもできる限り J-Net の機材を有効活用することとする。プロジェクトでは、遠隔研修教材の作成やオンラインでの貿易情報、振興サービス提供に必要な必要最小限の機材(サーバ、パソコンなど)を据え付ける。

RETPC には遠隔研修及び情報検索性機材としてパソコンを設置するとともに、必要な書籍を供与し、研修機能と情報センター機能を満たすよう、配慮する。なお、インドネシア側は、RETPC に据え付ける機材は協力期間中は中央政府所有とし、プロジェクト終了後に地方政府に引き渡したいとしている。調査団からは、地方政府に引き渡す前に JICA インドネシア事務所長宛に書面で連絡するよう、申し入れた。

(4) シニアボランティア

前述のとおり地方センターを設置する各地域に派遣し、シニアボランティアの活動とプロジェクトの活動の連携を検討する。

2 - 5 - 8 インドネシア側投入

(1) NAFED/IETC

- 1) C/P(地方センターへ派遣するスタッフも含む)
- 2) プロジェクト予算(地方への出張旅費を含む)
- 3) 貿易研修ノウハウ(シラバス、教材、マニュアル、PERT チャートなどを含む)
- 4) 地方センターの建物の改修費

(2) 地方(州)政府

- 1) 地方センターの土地、建物、施設
- 2) 地方センターのスタッフ
- 3) 運営コスト(文房具など消耗品費、機材維持費、交通費、会議費、展示費、通信機材(電話、FAX)費、通信費、電気・水道代、地方センタースタッフの人件費)

2 - 5 - 9 プロジェクトサイト

ジャカルタにおけるプロジェクトサイトは IETC 内とする。NAFED と IETC は現在別のビルに入っているが、プロジェクト実施にあたっては、NAFED(CEIT)の C/P が IETC 内に移る計画となっている。

調査・協議結果詳細

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果												
調査団派遣の目的		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次現地調査団派遣の目的を、以下のとおりインドネシア側に説明する。 (1) プロジェクト実施に向け、インドネシア側とプロジェクトのフレームワーク、協力の範囲、活動計画、投入計画などについて協議する。 (2) 協議結果及び調査団派遣前及び派遣中に収集した情報に基づき、プロジェクトドキュメント(案)を作成する。 (3) RETPCのために用意された建物を調査し、機材を据え付けるのに必要な改修工事について助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記のとおり説明した。 												
1. プロジェクトドキュメント(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次短期調査時に、JICAでは2000年度後半からプロジェクト計画段階の事前評価制度を導入していること、同制度の下で「プロジェクトドキュメント」を日本側・インドネシア側合同で作成する必要があることを説明した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次短期調査では、第1次短期調査の結果を踏まえて、プロジェクトの基本計画をより詳細に協議すべく、事前に日本側でプロジェクトドキュメント(案)を作成する。 ・ 加えて、以下の調査項目について追加の情報収集を行い、更にインドネシア側との協議結果も踏まえて、出発前に作成したプロジェクトドキュメント(案)を現地調査中に改訂し、インドネシア側に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記のとおり、事前に作成したプロジェクトドキュメント(案)を現地で改訂し、調査最終日にインドネシア側に説明した。プロジェクトドキュメントに対するコメントは2001年11月末までに送付するようにインドネシア側に依頼している。 												
2. プロジェクト実施の背景 (1) インドネシアの社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFEDによれば、工業製品の輸出額に占める小企業、中企業、大企業の割合はそれぞれ、以下のとおり。 <table border="1" data-bbox="427 1765 746 1895" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>企業規模</th> <th>1999年</th> <th>2000年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小企業</td> <td>2.23%</td> <td>2.02%</td> </tr> <tr> <td>中企業</td> <td>10.73%</td> <td>11.30%</td> </tr> <tr> <td>大企業</td> <td>70.19%</td> <td>71.74%</td> </tr> </tbody> </table>	企業規模	1999年	2000年	小企業	2.23%	2.02%	中企業	10.73%	11.30%	大企業	70.19%	71.74%	<ul style="list-style-type: none"> ・ データ出典及び可能であればその仕向先について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの出典は中小企業・協同組合省とのことであったが、引用された統計資料を確認することができなかった。このため、本統計はプロジェクトドキュメントには使用しないこととする。州別の製造業に関する企業統計(大・中企業)を入手していることから本統計資料を代用する。
企業規模	1999年	2000年													
小企業	2.23%	2.02%													
中企業	10.73%	11.30%													
大企業	70.19%	71.74%													

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
<p>(2) 対象セクター (輸出指向の中小企業)の現状</p> <p>(3) インドネシア政府の戦略 1) 対象分野 (中小企業の輸出振興)における政府、その他の団体の関連事業</p>	<p>・ 中小企業うち、仕向先が国内市場のみという企業が11万4,117社 (92.7%)、ほとんど国内市場のみという企業が4,726社 (3.8%)、一部輸出向けという企業が2,368社 (1.9%)、すべて輸出向けという企業が1,470社 (12%)あるとのこと(データの出典については不明)。</p>		<p>・ データの出典は中小企業・協同組合省とのことであったが、引用された統計資料を確認することができなかった。このため、本統計はプロジェクトドキュメントには使用しない。州別の輸出統計は入手済みであり、本統計を代用する。</p>
<p>a) ADB</p>	<p>・ 中小企業支援のため、2000年に2億ドル、2001年に1億ドルの融資をインドネシア政府に供与している。2001年の1億ドルでは、インドネシア輸出銀行(BEI)を通した小規模輸出者向けの輸出信用制度構築、及び中小企業の経営力強化のための技術移転からなるプロジェクトが計画されている。本件についてはローカルコンサルタントが調査を実施中。</p>	<p>・ ローカルコンサルタントの調査結果を確認する。</p>	<p>・ ローカルコンサルタントの調査最終結果を基に記載予定。</p>
<p>b) World Trade Center</p>	<p>・ ジャカルタに事務所を構え、貿易研修、貿易ミッション派遣、貿易フェア、図書館運営、翻訳・出版、事務業務請負い、貿易情報提供、調査事業などを行っている。ローカルコンサルタントが調査を実施中。(業務内容はホームページ参照 : http://iserve.wtca.org/wtc/jakarta_contacts.html)</p>	<p>・ ローカルコンサルタントの調査結果を確認する。</p>	<p>・ ローカルコンサルタントの調査最終結果を基に記載予定。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果								
<p>3. 対象開発課題(中小企業の輸出振興)とその現状 (1) 中小企業の輸出の現状・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> RETPC設立候補地の輸出統計資料はほぼ収集できた。しかし中小企業に関する統計は存在しない地方もあり、各輸出産業に占める中小企業のシェアまでは調査することができなかった。 本プロジェクトにて設立するRETPCのターゲット企業についてインドネシア側の考えは以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 伝統的製品の製造分野や裾野産業にて、今後積極的に輸出を計画している小企業 (2) 上記の分野で、既に輸出を行っているものの、今後事業の拡大あるいは改善を計画している小企業 	<ul style="list-style-type: none"> 各輸出産業のなかで中小企業が占めるシェアについては、ローカルコンサルタントによる企業調査結果を参考にする。 ターゲット企業はローカルコンサルタントの調査結果に基づき検討・協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各輸出産業の中で中小企業が占めるシェアに関する統計は入手できなかった。 ローカルコンサルタントの調査によれば、対象とした中小企業のうち輸出企業の比率は以下のとおり。ただ、一般的に中小企業の占める比率は20%以下といわれており、下記の比率は高すぎると思われる。 <table border="1" data-bbox="1117 660 1422 795"> <tr><td>スラバヤ</td><td>65%</td></tr> <tr><td>メダン</td><td>75%</td></tr> <tr><td>マカッサル</td><td>65%</td></tr> <tr><td>バンジャルマシン</td><td>25%</td></tr> </table> ニーズ調査の結果によれば、輸出振興サービスに対するニーズは高いものの、需給のミスマッチが見られる。すなわち、研修及び情報に対するニーズが高い一方、展示と研修が主に提供されている。政府のプログラムが不定期に実施されていることも評価が低い理由である。 	スラバヤ	65%	メダン	75%	マカッサル	65%	バンジャルマシン	25%
スラバヤ	65%										
メダン	75%										
マカッサル	65%										
バンジャルマシン	25%										
<p>4. プロジェクト戦略 (1) プロジェクト戦略 (2) プロジェクト名称</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第1次短期調査時のミニッツには「Establishment of Regional Export Training and Promotion Centers」と記載した。 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア側からの要請内容を、第1次短期調査の結果も踏まえて日本側で検討した結果を、プロジェクトのフレームワーク案(添付参照)としてインドネシア側に提案し、プロジェクトの基本戦略について協議する。 調査団からは「Capacity Building of Regional Export Training and Promotion Centers(日本名は「IETC地方展開プロジェクト」とする)を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記のとおり事前に作成したプロジェクトのフレームワーク案をインドネシア側に説明した。協議結果は以下各項目のとおり。 協議の結果、「Establishment and Capacity Building of Regional Export Training and Promotion Centers」とし、ミニッツに記載した。 なお、日本語名についても英語名に合わせ、今後「地方貿易研修・振興センタープロジェクト」とする。 								

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
(3) 協力期間	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア側は5年間の協力を要請している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクトはフェーズ1及びフェーズ2での協力を生かす形で実施することから、日本側としては3年の協力として考えている旨を伝え、インドネシア側と協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の結果、協力期間は暫定的に4年とし、ミニッツに記載した。
(4) プロジェクト実施体制 1) C/P機関の能力、プロジェクトにおける役割、機関相互の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工省輸出振興庁(National Agency for Export Development)及びその傘下のインドネシア貿易研修センター(Indonesia Export Training Center)が直接のC/P機関として想定されている。地方展開にあたっては、州政府の下にRETPCが設立される予定。 ・ インドネシア側は、プロジェクト実施のためにNAFED(なかでも輸出情報・研修センター:CEIT)及びIETC合同で「プロジェクトチーム」を構成し、ここにNAFED及びIETCの人員をC/Pとして配置する計画である。なお、プロジェクトの実施にあたり、CEITがIETCの建物内に移転する計画がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFED及びIETCが合同で構成する「プロジェクトチーム」を直接のC/P機関とするものの、州政府の下に設立されるRETPCのスタッフも含めて「C/P」と定義するよう提案する。 ・ 左記CEITの移転計画の詳細(移転時期、IETCの建物のどこに移転してくるか)を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記のとおり提案し、インドネシア側の同意を得た。RETPCのスタッフも含めてC/Pとする旨、ミニッツに記載した。 ・ 事前質問票に対するインドネシア側の回答によれば、2002年3月に移転する計画とのことであったが、調査中には時期についての言及はなかった。 ・ 移転先はIETC 1階の展示室となる予定。 ・ CEIT全体がIETCの建物に移転すると、NAFEDの他の部署との業務連携が困難になるため、CEITの職員のうちプロジェクトのC/P数名のみが移転することとなった。
a) NAFED	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFEDは1971年に設立された商工省傘下の組織である。主な機能は以下のとおり。 (1) 国の輸出振興政策立案 (2) 市場情報サービスのコーディネート (3) 輸出振興活動のコーディネート (4) 輸出品開発のコーディネート (5) 海外市場の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFED、特にCEITの現状及び問題点を確認し、本プロジェクトの目標を達成するために必要なIETCとCEITの連携の範囲及び内容について協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア側によればCEITの問題点は以下のとおり。 (1) 人材の技能が低い (2) ネットワークシステムの容量が小さい (3) 情報サービスの利用率が低い

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFEDの組織構成は以下のとおり。 (1) Secretariat(143名) (2) CEIT(49名) (3) アメリカ・オーストラリア・ニュージーランド市場開発センター(42名) (4) ヨーロッパ市場開発センター(40名) (5) アジア市場開発センター(40名) (6) 中東・アフリカ市場開発センター(45名) ・ CEITは以下の機能をもつ。 - 輸出データの加工、分析 - 貿易情報及びデータベースの開発、管理 - 輸出情報サービス及び広報の実施 - 貿易研修及び研修手法に関する方針決定 ・ NAFEDは現在、情報や企業向けコンサルティングを無料提供しているが、将来は有料にて実施する計画がある。現在NAFEDは自己収入による予算(DIKS)の編成作業を行っており、早ければ2002年に同予算を導入することになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア側からは、CEITにとどまらずNAFED全体に対する支援が要請された。特に優先順位が高い分野として、商品分析・市場分析、貿易振興におけるITの活用、があげられた。 ・ これに対して調査団からは、プロジェクトの目的はRETPCが地方の中小企業に対して貿易研修及び情報・振興サービスを提供できるようになることである旨説明し、NAFEDへの協力はプロジェクトの目的達成のために必要な範囲(CEITが担当している貿易情報提供サービス、及び貿易振興サービスの一部)に限ることとした。 ・ 貿易情報提供サービスに関して、NAFEDからは情報収集、分析・加工、発信の一連のサイクル全般にわたっての支援の要請がなされた。しかし、既にある程度の貿易関連情報はNAFEDのCEIT以外の部局(海外市場開発センター)に蓄積されており、また近年はインターネット上で海外の市場情報を含む様々な情報が公開されている。このため、プロジェクトの活動とは別にNAFED内で情報共有のためのタスクフォースを作って情報の死蔵を防ぐこと、及びインターネット上で公開されているものも含めた既存の情報を活用することを提案し、インドネシア側の理解を得た。NAFEDは2002年早々にもタスクフォースを組織するとしている。

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
b) IETC	<ul style="list-style-type: none"> ・ IETCは1990年に設立され、貿易研修の実施、輸出品検査、展示会の実施、コンサルティング業務などを行っている。JICAはIETCに対してフェーズ1協力(貿易研修、商業日本語、輸出検査、展示研修)及びフェーズ2協力(貿易研修の企画・運営能力強化)を実施してきた。1998年よりIETCはNAFED傘下の組織となった。コンサルティングについては、NAFEDが行うコンサルティング業務との競合に対する配慮から、IETCは研修コースの卒業生に対してのみ実施することとなっている。 ・ IETCは技術サービスユニット(Technical Service Unit : UPT)であり、自己収入を得ることのできる機関である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ IETCがRETPCに対して研修ノウハウを移転していく際の、具体的な手順やスケジュールを確認する。 ・ IETCがこれまでに作成したテキストなどの教材としてどのようなものがあるのかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記については具体的には確認できなかった。IETCからRETPCに派遣するマネージャーの教育は、2001年第4四半期から開始する計画となっている。 ・ IETCのインストラクターによれば、紙媒体、OHPシート、パワーポイントファイルなどの形で作成している。
c) RETPC	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアではUPTが支部をもつことができないため、RETPCをIETCの下部組織とすることはできない。 ・ 第1次短期調査において訪問した4地方いずれでも、RETPCは州商工部(Dinas Indag.)の下のUPTとして運営される計画であった。 ・ UPTの認定取得には期間を要するため、既存のUPTのなかにRETPCを設立するという地方(スラバヤ)と、認定にそれほど期間がかからないので、新規にUPTを設立するという地方(マカッサル、ほか)があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ UPTの認定条件とUPTとなることのメリットについて情報を収集する(研修料金の設定権限、自己収入による予算編成など)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定条件などに関する情報は得られなかった。 ・ UPTの認定は技術サービスの提供資格であり、料金徴収が行える資格はDIKSの取得をもって行える。 ・ スラバヤにてRETPCの受け皿となる州政府の組織は、既にUPTとDIKSの資格を有していると聴取した。 ・ 研修料金の設定についてIETCでは、政府補助事業の場合財務省が、自己収入事業(特定企業との契約により実施する事業を含む)の場合、IETC自身が設定している。

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営にあたっては県(Kabupaten) 商工会議所、現地NGOの協力も得て運営する計画を示した州もある。また、RETPCの組織は自己収入の獲得及び将来的な独立運営をめざすとする州もある。 ・ 州政府を基盤に県自治体、商工会議所の協力を得て、NAFED/IETCと地方政府の職員が合同で運営するUPTが想定されている。 ・ 当初プロポーザルであげられていたRETPC設立候補地は以下の6か所(番号はインドネシア側の優先順位)、 1位 スラバヤ(東ジャワ州) 2位 メダン(北スマトラ州) 3位 マカッサル(南スマトラ州) 4位 ジョグジャカルタ(ジョグジャカルタ特別州) 4位 バンジャルマシン(南カリマンタン州) 4位 バダン(西スマトラ州) ・ 第1次短期調査では6か所の設立候補地のうち4か所(スラバヤ、メダン、マカッサル、バンジャルマシン)を訪問調査した。ただ、RETPC設立地について結論を出さず、企業のニーズ調査の結果も踏まえて、第2次調査までに設立地を内定することとした。インドネシア側からは、2002年度予算を確保する都合上、秋までには結論が欲しいとの要望があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ RETPCの運営に対して民間の受益者の意見を反映する仕組みとして、民間も含めた関係者で構成するアドバイザリーコミッティーを各地方で設立するなどの方策を提案する。 ・ 特にマカッサルにおいては、既に地元の商工会議所(KADIN)が中小企業向けの研修事業や情報提供事業を本格的に行っていることから、RETPCとの連携のあり方を十分に検討する。 ・ ローカルコンサルタントによるニーズ調査結果を確認したうえで、本プロジェクトで協力する地方としては4か所(スラバヤ、メダン、マカッサル、バンジャルマシン)とする。ただしマカッサルについてはKADINとの連携を条件とする。 ・ RETPCの設立順序及びスケジュール、センターに対する日本の協力の開始時期について、日本側からは、以下のとおり提案する。 1年目： ジャカルタ及び地方2か所に対する協力 2年目： 地方の他の2か所に対する協力 上記を基に、NAFED/IETC及び各地方の意向も踏まえて協議を行い、地方に対する協力のスケジュール(案)を作成する。 ・ RETPCのマネジメントは、4か所一律ではなく地方ごとの特色を生かすよう、提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記のとおり提案し、インドネシア側の同意を得、ミニッツに記載した。 ・ 協議の結果マカッサルでのRETPC設立は2003年となった。左記地元商工会議所との連携の具体案は今後の課題である。 ・ 左記のとおり4か所に対して協力を行うこととし、ミニッツに記載した。ただし地方政府が運営予算を準備できない場合は日本側は協力しないこと、及び協力地方を途中で変更したり追加したりはしないことを確認し、ミニッツに記載した。 ・ RETPCへの協力順序については協議の結果、以下のとおりとした。 1年目： スラバヤ 2年目： メダン、マカッサル 3年目： バンジャルマシン また地方に対する協力のスケジュール(案)をミニッツに記載した。 ・ 左記のとおり提案し、インドネシア側の合意を得て、ミニッツに記載した。

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
<p>d) 機関相互の関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFED/IETCと各RETPCとの関係はインドネシア側の案では以下のとおり。 ・ NAFED長官とRETPCを設立する州の知事は、センター設立に係る取り決め内容を記載した覚書(MOU)に署名する。 ・ この覚書に基づき、NAFEDから1名、IETCから2名、計3名のマネージャーがRETPCに派遣される。これらマネージャーの給与や住宅費はNAFED及びIETCが負担する。州政府は他のスタッフをRETPCに配置する。 ・ 上記3名のマネージャーは地方のスタッフに対して、貿易研修・振興の運営管理及び内容に関する知識の提供、貿易関連情報の提供、研修実施の支援、を行う。 ・ 上記3名のマネージャーの教育は、RETPC開設前にそれぞれNAFED、IETCの内部で行う。 ・ NAFED/IETCで構成するプロジェクトチームとRETPC間のコミュニケーション手段として、インドネシア側は以下を提案している。 RETPCが月1度プロジェクトチームに対して報告書を提出する。 年1回各RETPCのマネージャーを集めてミーティングを行う。 上記以外にも必要に応じてマネージャーミーティングを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ MOU案を入手し、その内容についてNAFED/IETC及び州政府と協議する。MOU案が準備できていない場合あるいは入手できない場合には、Tentative Results of items to be followed-up by the Indonesian sideに記載されている、MOUに盛り込まれる予定の内容について、現地調査を実施する東ジャワ州政府にて確認する。 ・ 地方スタッフに対する研修方法として、左記のとおり地方に派遣されるNAFED/IETCのマネージャーによる指導以外に、日本から短期専門家が派遣された際に地方スタッフをジャカルタに集めて集合研修を行う形も提案する。 ・ プロジェクトチームとRETPC間が密にコミュニケーションをとるための、左記以外の方法について協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ MOU案(英文版)の内容についてインドネシア側と協議のうえ、ミニッツに添付した(Annex 5)。 ・ しかしミニッツ署名後に訪問したスラバヤにおいて、インドネシア側が「MOU」と呼んでいるものに2種類あることが判明した(貿易振興分野でのNAFED - 州政府間の協力に関する包括的なもの、及びRETPCの設立・運営に関する詳細なもの)、ミニッツに添付した「MOU」は後者であるが、名称が紛らわしいことから、今後これを「Technical Cooperation Agreement(TCA)」と呼ぶこととした。 ・ 上記TCAの内容については、スラバヤにおいて改めてNAFED、東ジャワ州商工部、調査団で協議し、若干修正した。 ・ TCAへのNAFED長官及び東ジャワ州知事の署名は2001年12月中に行われる予定。 ・ 左記を提案し、インドネシア側の同意を得てミニッツに記載した。なお、ジャカルタで集合研修を行う場合の交通費は地方負担とする旨、TCAに記載している。 ・ インドネシア側の説明では、プロジェクト期間中はNAFED/IETCから派遣される人材がRETPCの所長を務めるが、プロジェクト終了後は地方政府に所長ポストを引き渡す方針とのことである。 ・ 左記以外に以下の方法をとることを確認し、ミニッツに記載した。 郵便、FAX、e-mail、NAFEDのウェブサイト上でのグループ討議 電話 ジャカルタからの定期的訪問指導(最初の6か月は月1回、それ以降は2か月に1回の頻度)

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果												
<p>2) 予算措置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFED及びIETCの過去数年の予算推移及び今後の見込みは以下のとおり。 ・ NAFEDの1999年から2001年の予算(歳入)単位:100万ルピア) <table border="1" data-bbox="357 412 794 510"> <thead> <tr> <th></th> <th>1999</th> <th>2000</th> <th>2001</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常予算</td> <td>N.A.</td> <td>N.A.</td> <td>N.A.</td> </tr> <tr> <td>プロジェクト予算</td> <td>15,824</td> <td>17,125</td> <td>23,522</td> </tr> </tbody> </table> <p>注:2000年は9か月分を計上。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IETCの1999年から2001年の予算(歳入)は以下のとおり(単位:100万ルピア)。 ・ 新プロジェクトのための予算計画及びNAFEDとIETCの分担についての計画は第1次短期調査では情報を得られなかった。 ・ RETPCはどの地域も、基本的にはNAFED/IETCの作成したRETPC運営経費見積りに沿って予算計画を立て、2002年度予算として申請している。 ・ ただしメダンは独自の予算案(州政府予算に加えて県の予算の一部及び国営企業の収益の5%を小規模企業の研修受講費の補助金とする)を提示した。 		1999	2000	2001	通常予算	N.A.	N.A.	N.A.	プロジェクト予算	15,824	17,125	23,522	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経年変化を確認できるNAFED及びIETCの直近3~5年分の予算・決算とその内訳を入手する。また、2002年度の予算とその内訳を入手する。 ・ 新プロジェクトのためのNAFED/IETCの予算計画を確認する。 ・ 各地の予算申請の状況を確認する。 ・ RETPCが運営資金を配分できない場合の対応策をNAFED/IETCと協議・検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFED及びIETCの1999年度以降の予算実績及び2002年度の予算計画の概要表を入手し、ミニッツに添付した(Annex 3)。 ・ 2002年度予算は議会で審議中であり、まだ承認されていなかったが、2002年度分のプロジェクト予算としてNAFED(含むIETC)が申請している金額の内訳を入手し、ミニッツに添付した(Annex 11)。 ・ 予算申請から承認までの時期、流れを聴取し、ミニッツに添付した(Annex 12)。 ・ 地方で2002年度の予算を申請しているのはスラバヤ(東ジャワ州)のみであった。東ジャワ州商工部は、RETPC立ち上げ費用及び2002年9月~12月の運営予算として、約10億ルピアを申請しており、州議会で審議中とのことであった。東ジャワ州のプロジェクト予算計画の内訳も入手した。 ・ RETPCが運営資金を用意できない場合は、その地方に対する協力は行わないことを確認した。
	1999	2000	2001												
通常予算	N.A.	N.A.	N.A.												
プロジェクト予算	15,824	17,125	23,522												

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
3) C/P	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア側は、本プロジェクトに対して、NAFEDとIETCからそれぞれ25名(うちアドミ3名)、22名(うちアドミ2名)ずつ、計47名のC/Pを配置するとしている。IETCのC/Pの役割は不明確である。 ・ IETCは自己収入の一部を貢献した職員に分配するシステムを備えているが、NAFEDは現在自己収入を得ることができない(現在承認申請中)、プロジェクトの実施にあたり、NAFEDとIETCの職員の待遇を同等のものとするため、NAFEDは職員に追加給与を支払いNAFEDとIETCの職員の給与水準の同一化を図るとしている。 ・ RETPCのスタッフについては、基本的にNAFED/IETCの作成した人員構成案(第1次短期調査時のミニッツAnnex 7)に沿うことで各地方とも異論はなかった。地方スタッフの要件については、さらに詳細情報が必要とのコメントが出た地域もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFEDのC/P25名の妥当性の検討と、IETCのC/Pの役割の明確化を行う。 ・ スラバヤにてセンターのスタッフ構成案を聴取する。 ・ インドネシア側は、日本の協力の直接のC/Pはプロジェクトチームに配置されるNAFED/IETCのスタッフであり、RETPCのスタッフはNAFED/IETCのスタッフから指導を受けるとしている。しかし、C/Pの定義をRETPCのスタッフにまで広げ、日本人専門家から新たに移転される技術内容については、NAFED/IETCのスタッフとともに地方スタッフも同時に指導を受けることを可能とするよう提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議の結果、NAFEDのC/Pは8名(情報担当2名、貿易振興担当3名、IT担当3名)とし、暫定版のC/Pリストを作成した(Annex 10)。ただしNAFED側はC/Pの構成について再検討するとしている。 ・ IETCのC/Pは22名で、研修管理(RETPCへの指導を含む)担当6名、遠隔研修用コンテンツ担当6名、遠隔研修技術担当7名、アドミ3名の計画である。 ・ 東ジャワ州商工部は、NAFED/IETCからRETPCのスタッフに対する要件が連絡され次第、人選するとしている。これを受けてNAFEDにてスタッフに対する要件を作成し、追って連絡することとなった。 ・ 左記のとおり提案し、インドネシア側の同意を得た。
(5) 協力体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地方政府あるいは商工会議所によって、貿易研修などの事業が行われている地方もある模様である。 ・ 地方により異なるが、県政府、国営企業、他州政府、商工会議所などの組織との連携が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャカルタ及び各地方において、合同調整委員会やアドバイザーコミティーなどを組織し、民間(商工会議所、各種組合、中小企業の代表者など)の要望をプロジェクト運営に活かすことをインドネシア側に提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記のとおり提案し、インドネシア側の同意を得た。

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
<p>5. プロジェクトの基本計画(案)</p> <p>(1) 上位目標</p> <p>(2) プロジェクト目標</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア側と協議のうえ、プロジェクトのマスタープラン(上位目標、プロジェクト目標、成果、活動)の暫定案を協議のうえ(特にプロジェクト目標)結果をミニッツに記載する。 ・ 日本側のマスタープラン案として、以下を提案する。 <p><u>上位目標</u> 地方貿易研修・振興センター(RETPC)を設立した地方における中小企業の輸出を振興する。</p> <p><u>プロジェクト目標</u> RETPCが各地方の中小企業に対して貿易研修及び貿易振興サービス(貿易情報提供、貿易振興サービス)を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議の結果、ミニッツには以下のとおり記載した。 <p><u>上位目標</u> 地方貿易研修・振興センター(RETPC)を設立した地方における中小企業の輸出を振興する。</p> <p><u>プロジェクト目標</u> (スラバヤ、メダン、マカッサル、バンジャルマシンの) RETPCが各地方の中小企業に対して貿易研修、貿易情報、及び貿易振興サービスを提供する。 (ただしミニッツ署名後の協議で、RETPCの前に「モデル」という語を追加することとなった)</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
(3) 成 果		<p>成 果</p> <p>(1) NAFED/IETCとRETPCが連携して貿易研修、貿易情報提供、及び貿易振興サービスを各地方において実施するための体制が確立される。</p> <p>(2) RETPCのC/Pが貿易研修の運営管理を行うことができるよう、訓練される。</p> <p>(3) NAFED/IETC及びRETPCのC/Pが貿易研修及び貿易情報提供のための情報技術(IT)の活用技法を習得する。</p> <p>(4) RETPCのC/Pが貿易情報提供及び貿易振興サービスの運営管理を行うことができるよう、訓練する。</p> <p>(5) IETCが地方展開のノウハウを身につける。</p>	<p>成 果</p> <p>(1) RETPCが「プロジェクトチーム」と連携して貿易研修、情報、振興サービスを各地方において実施するための体制が確立される。</p> <p>(2) RETPCのC/Pが貿易研修の運営管理手法を習得する。</p> <p>(3) RETPCと「プロジェクトチーム」のC/Pが、遠隔研修技術を含めた貿易研修のためのIT活用技術を習得する。</p> <p>(4) RETPCと「プロジェクトチーム」のC/Pが、貿易情報、振興サービスのためのIT活用技術を習得する。</p> <p>(5) RETPCのC/Pが貿易情報、振興サービス(常設展示、図書館運営、オフライン情報の発信)の運営管理手法を習得する。</p> <p>(6) 「プロジェクトチーム」のC/PがRETPCを他の地方にも設立・運営していくためのノウハウを身につける。</p> <p>(ただしミニッツ署名後の協議で、次のとおり若干変更することとした)</p> <p>成果5の主語に「プロジェクトチームのC/P」も加える。</p> <p>成果4及び5の順番を入れ替える。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
(4) 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア側がRETPCの活動内容として、以下を想定している。 (活動内容) (1) 研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常の研修と遠隔研修の2種類を行う。 (研修内容:輸出貿易、貿易展示、品質管理、ビジネスコミュニケーション、IT利用に関する貿易研修、輸出手続き、輸出/輸入管理、輸出支払い、貿易契約、貿易関連法令、知的所有権、環境(ISO 14000、エコラベル)、商品デザイン、ビジネス関連法令、商品開発、商社の設立、等) ・ IETCのC/Pがフェーズ2協力の成果を基に、研修立案・実施・評価に係る技術を各RETPCのスタッフに指導する。 ・ RETPCに対して、IETCが研修シラバス、教材、運営管理ツール(マニュアルやPERTチャート)を提供し、RETPCのスタッフを研修コースプランナー及びインストラクターとして育成する。インストラクターは、RETPC内のスタッフだけでなく、外部からも招く。 ・ 遠隔研修についてインドネシア側からは、研修講師の旅費節約の効果があるとして、遠隔研修(テレビ会議システム及びウェブベースドトレーニング(WBT))の必要性が述べられている。 	<p><u>活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 1-1 NAFED/IETCが合同でプロジェクトチームを設立し、C/Pと予算を配置する。 1-2 スラバヤ、メダン、マカッサル、バンジャルマシンにRETPCが設立される。 1-3 RETPCが事業計画を立て、予算及び人員を配置する。 1-4 プロジェクトチームとRETPC間のコミュニケーションチャンネルを確立する。 2-1 RETPCのスタッフに対し貿易研修の計画・立案・実施に係るノウハウを移転する。 2-2 各地方で貿易研修に対するニーズ調査を行う。 2-3 RETPCのC/Pがニーズ調査の結果に基づいて貿易研修コースを計画し、実施することができるよう訓練する。 2-4 RETPCにおいて研修カリキュラム、シラバス、教材を地方のニーズに合うように修正する。 2-5 プロジェクトチームから派遣されるマネージャーの指導の下で、RETPCのC/Pが研修コースを実施することができるよう、訓練する。 3-1 ITを活用した研修及び貿易情報提供に必要な機材を据え付ける。 3-2 プロジェクトチーム及びRETPCのスタッフが機材の使用方法及び維持管理方法を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動についてはPDM(ミニッツAnnex 7)参照。

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
	<p>(2) 貿易情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RETPCにおいては、ビジネスコンサルティング、貿易情報の作成及び発信、図書館運営を行いたいとしている。 <p>(3) 貿易振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RETPCにおいては、商品開発(デザイン、原材料、包装、ラベリング)ミニリソースセンターの運営、小展示室の運営、トレードフェア・見本市のアレンジ、ビジネスコンサルティング、出版、ビジネス文書、ビジネス倫理などに関するサービスを行いたいとしている。 <p>・ 地方で上記(2)及び(3)のようなサービスを行っていくために、NAFED(CEIT)の以下について日本の協力を得たいという要請がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> マーケットへのアクセス支援(貿易照会、情報提供 - 貿易障壁、海外市場、仕向国、貿易規制等の情報) 出版(ニュースレター等) 輸出者/輸入者支援(輸出者、輸入者のディレクトリー配布) 統計データ(国内外の輸出入統計、貿易収支、等) 輸出支援ガイド プロモーション(展示手法、国内外の展示会) 	<p>3-3 プロジェクトチームのC/PがITを活用した研修及び貿易情報提供の実施計画を策定する。</p> <p>3-4 プロジェクトチーム及びRETPCのスタッフが、遠隔研修のコンテンツを作成するための基礎技術を習得する。</p> <p>3-5 プロジェクトチーム及びRETPCのスタッフがITを利用した研修及び貿易情報提供をOJTとして実施する。</p> <p>4-1 貿易情報提供及び貿易振興サービスを行うために必要な機材・備品を据え付ける。</p> <p>4-2 プロジェクトチーム及びRETPCのC/Pが機材の使用方法及び維持管理方法を習得する。</p> <p>4-3 プロジェクトチーム及びRETPCのC/Pに対し、日本人専門家が貿易情報提供業務及び貿易振興業務全体に関する助言を行う。</p> <p>4-4 プロジェクトチーム及びRETPCのC/Pが貿易情報及び貿易振興サービスに対する中小企業のニーズを調査することができるよう、訓練する。</p> <p>4-5 プロジェクトチーム及びRETPCのC/Pがニーズに沿った貿易情報及び貿易振興サービスを中小企業に対して提供できるよう、訓練する。</p> <p>4-6 シニアボランティアがRETPC周辺の中小企業に対してコンサルティングサービスを行う。</p> <p>5-1 各RETPC設立手順を記録する。</p>	<p>・ 活動についてはPDM(ミニッツAnnex 7)参照。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
<p>(5) 投入 1) 日本側投入 a) 専門家</p>	<p>・プロポーザル並びにその後の追加提出資料に記載されているインドネシア側の要望は以下のとおり。(専門家)</p> <p>(1) 長期専門家(5名) チーフ・アドバイザー 業務調整員 遠隔教育 貿易情報 情報収集、分析、加工、発信など) 貿易振興(コンサルテーションなど)</p> <p>(2) 短期専門家：毎年10人 分野はプロジェクト・チームとRETPCのニーズによる。プロポーザルには以下を列挙。 IT(IT/ネットワーク管理) 商品(農産物、海産物、衣類、手工芸品、食品加工) 非商品(家具などの商品デザイン、包装、製造技術) プロモーション(出版物、貿易プロモーション戦略、情報普及、ホームページ設計、貿易フェア管理、輸出図書館、地方での研修講師)</p>	<p>5-2 上記手順を一般的なものと固有なものに区分する。</p> <p>5-3 プロジェクトチームのC/PがRETPC設立地の経済・制度状況の調査を実施できるよう訓練される。</p> <p>5-4 プロジェクトチームのC/PがRETPC設立の計画を立案できるよう訓練される。</p> <p>・専門家に期待されている技術内容を明確にする。</p> <p>・日本側としては、長期専門家はジャカルタに2名程度(チーフ・アドバイザー及び業務調整員)を配置し、遠隔研修技術、貿易情報、貿易振興などに関する技術移転及び情報提供のために、適宜短期専門家を派遣することで対応を考えている旨インドネシア側に伝え、協議の結果をミニッツに記載する。</p> <p>・インドネシア側と協議のうえ、長期専門家のTOR案を作成する。</p> <p>・短期専門家の派遣分野について、日本側からは以下のとおり提案する。 貿易情報・貿易振興のなかの個別分野に関する情報提供 IETCに対する遠隔教育技術の移転(コンテンツ制作を含む) 貿易に関するホットイシューをテーマとしたセミナーの講師</p> <p>・上記の短期専門家については、必要に応じてジャカルタだけでなく地方にも派遣することとする。</p>	<p>・活動についてはPDM(ミニッツAnnex 7)参照。</p> <p>・調査団より、長期専門家としては2名(チーフ・アドバイザー及び業務調整員)の派遣を考えている旨伝えたと、インドネシア側からは加えてITの長期専門家の必要性が述べられた。調査団からは、一般にIT分野での長期専門家のリクルートは困難であることを伝えたと、必要に応じて他分野でもう1名の長期専門家の派遣を検討することとした。</p> <p>・長期専門家のTOR案は今回作成できなかった。</p> <p>・短期専門家の派遣分野については、協議の結果、以下のとおりとし、ミニッツに記載した。 ホームページ拡充指導 データベース拡充指導 地方でのセミナー 図書館運営管理 カタログ作成 展示技術 貿易振興のための出版物作成 その他</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
<p>b) 研修員受入れ</p>	<p>(3) シニアボランティア分野は地方のニーズによる。プロポーザルには以下を列挙。 プロモーション 小規模展示 商業日本語</p> <p>(C/P研修)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア側が要望しているコンサルテーションについては、シニアボランティアにより対応することを提案する。 ・ シニアボランティアに対する各地方の派遣要望分野を聴取する。 ・ RETPCのスタッフの育成は基本的にインドネシア国内で、ジャカルタで集合研修または遠隔研修により行う方針とする。 ・ 本邦研修は必要性を十分検討し、フェーズ1、フェーズ2で扱わなかった新規技術のうち、本邦でなければ研修できない内容に限って実施する。RETPCからも優秀なスタッフについては、必要に応じて本邦研修に受け入れることとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シニアボランティアは本プロジェクトとは別の案件として取り扱うことを説明したうえで、各地方から要望があれば派遣することは可能である旨をインドネシア側に伝えた。 ・ 左記の方針を伝え、インドネシア側の理解を得た。 ・ 左記の方針を伝え、インドネシア側の理解を得た。 ・ 受入人数について、インドネシア側からは年5名程度の要望が述べられたが、左記の方針とともに予算の制約があることを説明し、原則年0~3名程度を受け入れることとし、ミニッツにこの旨記載した。

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
c) 機材供与	<p>(機材供与)</p> <p>(1) 各地方(カッコ内は要望台数)</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンピューター(サーバー(1)、ワークステーション(24)) - ネットワーク機器(ルーター、スイッチング、ハブ、UPS) - プリンター(7) - 研修用機材(OHP(4)、ホワイトボード(4)、プロジェクター(2)、スライドプロジェクター(2)、コピー機(1)、スキャナー(1)) - テレビ会議システム - ISDN回線 - AV機器(オーディオミキサー(1)、アンプ(1)、スピーカー(4)、マイク(5)、マイクスタンド(4)、ビデオカメラ(2)、ビデオスイッチャー(1)、ビデオモニター(4)、ライト(2)、ドキュメントカメラ(1)、LCDプロジェクター(2)、ビデオデッキ(2)) <p>(2) NAFED/IETC</p> <p>1) NAFED</p> <ul style="list-style-type: none"> - サーバー(2)、ワークステーション(10)、プリンター(6)、スキャナー(1)、ネットワーク機器 <p>2) IETC</p> <ul style="list-style-type: none"> - テレビ会議システム - AV機器(同上) - ISDN回線 <p>・ ISDN回線に関する情報は以下のとおり。 ISDNインフラはスラバヤ、メダン、マカッサルにて利用可能である。パンジャルマシンについてはまだ整備されていないが、必要に応じて据え付けは可能である。ISDNの据え付け費、基本料金、単位当たり料金を入手。インターネット・サービス・プロバイダーのアドレスを入手。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機材については、遠隔教育の実施方法に基づいて、構成及び台数について協議する。 ・ 遠隔研修については、様々な方法が考えられるが、インドネシアにおいて技術面・財政面から考えて最適の方法についてインドネシア側と協議する。 ・ J-netで整備する機材及び回線を極力活用する。 <p>・ 1か所目のサイト(スラバヤ)における機材のレイアウト案を作成する。</p> <p>・ 遠隔研修を行うのに必要な回線数を検討し、その利用料金を調査する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔研修の方法として、第1次短期調査時にはインドネシア側はテレビ会議システム及びウェブ・ベースド・トレーニング(WBT)を要望していた。しかしWBTは通信インフラの整備状況が十分でないことから、今回取り下げられた。 ・ テレビ会議システムに対してはインドネシア側の要望が非常に強く、集合研修とテレビ会議システムによる遠隔研修の実施コスト比較(Annex 8-1)、機材を購入した場合とレンタルした場合のコスト比較(Annex 8-2)、遠隔研修実施計画(Annex 8-3)が提示されて必要性が強調された。しかしISDN回線によるデータ通信費が高額であり、継続的な実施が危惧されたため、協力初年は機材のレンタルによりジャカルタ・スラバヤ間で2回試行し、購入するかどうかはその結果を見て改めて議論することとし、ミニッツに記載した。なお、テレビ会議システム機材のレンタル費用は日本側が、通信費はインドネシア側が負担することとした。 ・ 上記の議論を踏まえ、またIETCにはJ-netの機材が据え付けられることも考慮したうえで、本プロジェクトでの供与機材リスト(暫定案)を作成し、ミニッツに添付した(Annex 9-1、9-2)。 ・ おおまかなレイアウト案を作成した。 ・ IETCは現在ISDNを1回線使用しており、J-netでは512kbpsの専用線が入る予定である。 ・ スラバヤ(東ジャワ州)のRETPCはISDN3回線を設置するとしている。

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
<p>2) インドネシア側投入</p> <p>a) 要員配置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本からの供与機材の所有権はプロジェクト・チームに帰属させるとの案が示されている。 ・ プロポーザル並びにその後の追加提出資料に記載されているインドネシア側の案は以下のとおり。 ・ NAFED/IETCにプロジェクト・チームを組織。C/PとしてNAFEDは25名、IETCは22名を配置する。 ・ 各 RETPCには NAFEDから 1名、IETCから 2名、計 3名のマネージャーを派遣。地方政府から副所長を含む管理者・スタッフが派遣される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記4(4)3)のとおり検討したうえで、プロジェクトチームに配置されるC/Pの暫定リストを入手する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本からの供与機材は、協力期間中はプロジェクトチーム所有とし、協力終了時に地方政府へ所有権を移したいというインドネシア側の意向である。調査団からは、所有権を移す場合には事前にJICAインドネシア事務所長宛に書面で連絡するように申し入れ、ミニッツにも記載した。 ・ インドネシア側の要員配置計画は以下のとおりであることを確認し、ミニッツに記載した(上記4(4)3)参照)。 ・ プロジェクトディレクター：NAFED長官 ・ 副プロジェクトディレクター：NAFED次官 ・ プロジェクトマネージャー：CEIT局長 ・ 副プロジェクトマネージャー：IETC所長 ・ C/P：NAFEDより8名、IETCより19名 ・ 事務スタッフ：IETCより3名 ・ スラバヤ(東ジャワ州)のRETPCに配置されるC/Pは今次調査時点では未定であった。 ・ スラバヤとメダンのRETPC所長候補者は内定している(両者ともIETC所属)。

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
<p>b) プロジェクト予算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAFED/IETCはRETPCの建物の修繕費及びRETPCへの派遣職員の費用(給与・旅費・住居費を含む)を負担。 ・ 地方政府はRETPCの運営費用を負担する(建物、研修・貿易振興関連施設の維持管理費を含む)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算申請と予算配分のタイミングについて確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央政府、地方政府とも、秋(10~11月)に予算要求し、議会の承認(12月)を経て、3~4月ごろに予算配布されることであった。 ・ 今次調査時点では2002年度予算はまだ承認されていなかったが、NAFED/IETC及び東ジャワ州政府が要求している2002年度のプロジェクト予算の概要はそれぞれ、以下のとおり。 <p><u>NAFED/IETC(Annex 11)</u> : 合計12億5,000万ルピア</p> <p>(1) スラバヤRETPC用予算(10億2,468万ルピア)</p> <ul style="list-style-type: none"> - スラバヤへ派遣する人員の給与: 4,000万ルピア - スラバヤRETPCの事務消耗品: 3,000万ルピア - 交通費: 2,980万ルピア - スラバヤRETPC改修費: 4億ルピア - その他(職員研修、物品運搬、会議費ほか): 2億1,984万ルピア - 機材維持費(通信費、高熱費を含む): 3億500万ルピア <p>(2) プロジェクトチーム用予算(2億2,532万ルピア)</p> <ul style="list-style-type: none"> - C/Pの給与: 3,570万ルピア - 交通費: 1億5,200万ルピア - その他(会議費、広報費ほか): 3,760万ルピア <p><u>東ジャワ州</u> : 合計9億7,092万ルピア</p> <ul style="list-style-type: none"> - 家具、備品: 4億5,625万ルピア - 事務・研修器具(電話、FAX、ISDN回線、空調機、スピーカ、OHP、スクリーンほか): 1億5,970万ルピア - 研修経費: 8,997万ルピア - RETPC運営費: 1億6,000万ルピア - C/P給与: 9,900万ルピア

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
c) 土地、建物、施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方政府が土地及び建物(事務所施設を含む)事務機器、事務用品に関する費用を負担する。 ・ NAFEDは各州の建物で改修が必要とされる場合、州政府とのMOU締結準備に並行し、当該改修費について商工省に、NAFEDのC/P予算として申請するとしている。初年度に設立するセンターの改修に対しては4億ルピアが計上される予定である。次年度以降は、改修の必要性次第で判断される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か所目以降のセンター改修費についても、中央政府が負担できることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か所目以降のRETPCの改修費は2003年度予算及び2004年度予算でNAFEDが予算申請する予定である。
(6) 外部条件の分析と外部要件のリスク		<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部条件となり得る事項を検討し、インドネシア側と協議のうえ、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)案に記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部条件についてインドネシア側と協議し、PDMに記載した(PDM : Annex 7参照)。
(7) 事前の義務及び必要条件		<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトの前提条件を検討し、インドネシア側と協議のうえ、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)案に記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトの前提条件としては「NAFED及び各州政府との間でMOU(TCAと改称)に署名がなされる」とし、PDMに記載した。
6. 計画管理諸表			
(1) プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記5、プロジェクトの基本計画(案)を基にインドネシア側と協議のうえPDM案を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア側と協議のうえ、PDM案を作成し、ミニッツに添付した(Annex 7)。
(2) 活動計画(PO)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記活動(案)を基にPO案を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア側と協議のうえ、PO案を作成し、ミニッツに添付した(Annex 13)。
(3) 暫定実施計画(TSI)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記投入(案)を基にTSI案を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア側と協議のうえ、TSI案を作成し、ミニッツに添付した(Annex 14)。
(4) 技術協力計画(TCP)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記によりマスタープラン案を協議したうえで、プロジェクトにおける技術移転分野について協議し、技術移転のスケジュール(案)をTCP案として作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今次調査ではTCP案は作成できなかった。
7. プロジェクトの総合的実施妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価5項目の観点からプロジェクトの事前評価を行うために必要な情報を収集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査・協議結果を基に事前評価表(暫定版)を作成した。

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査・協議結果
8. プロジェクト開始までのスケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2002年1月 第3次短期調査 (今回訪問調査するスラバヤ以外の3か所(メダン、マカッサル、バンジャルマシン)を訪問し、機材レイアウト案を作成するとともにMOU案の内容を確認することを目的とする) ・ 2002年3月 実施協議調査 R/D署名 ・ 2002年4～7月ごろ 協力開始 専門家のリクルート状況などにより追って調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メダン、マカッサルのRETPC設立は2003年度、バンジャルマシンのRETPC設立は2004年度となったことから、左記第3次短期調査団は派遣しないこととする。ただしメダン及びマカッサルの調査・協議のため、2002年8～9月ごろに運営指導調査を行う。 ・ 2002年1月下旬～2月上旬に実施協議調査団を派遣する(J-netプロジェクトの実施協議調査団と時期を合わせて派遣する)。 ・ 今次調査でインドネシア側には2002年6～7月ごろ協力開始との方針を伝えた。

2 - 6 調査団長所感

2 - 6 調査団長所感

2 - 6 - 1 技術移転の範囲

(1) 研修事業

現在 IETC で行われている研修事業を地方に拡充伝播すると同時に、研修教材を電子化してマルチメディア教材を作成する。研修教材の電子化は、IETC 本体の研修事業にも一層の質の向上をもたらすものと確信している。

(2) 情報サービス事業

地方センター(RETPC)の情報化はまず、利用が多いと思われるリソースセンターすなわち図書館の充実から入るべきだろう。NAFED は、この際自分のところへも協力してほしい旨表明しているが、それは副次的効果として還元できると思う。一方、NAFED のホームページ上の情報の拡充と研修事業との連携を図る。情報の拡充といっても、自ら調査して作り上げるのではなく、外部データベースにある既存のものを有効利用するものとする。そういうことを判断できる人材を育成することを優先する。NAFED 内部の情報に手を付けると、内部の情報の管理体制など、内部の組織体制の矛盾を一手に被ってしまうおそれがある。

(3) 貿易促進事業

この事業は幅の広い事業であるが、地方センターでは、展示やパンフレットの作成法、インターネットのホームページの作成法などを研修事業と連携して行う。

(4) 実施上の注意事項

1) 地域の多様性の認識

地方では、一番先進のスラバヤと遅れているバンジャルマシンと格差があるが、地方によって、輸出産業構造が異なる。当然、通信インフラをはじめ、インフラの開発度合も相違が出てくる。根源的なところで民度や意識の違いや民族的にも違いが出てくる。また、商工会議所(KADIN)をはじめ Stakeholder の協力度の温度差もあるだろう。こういうことを始めから認識しておくことが必要である。

2) 地元のリソースの活用

既に IETC には、13 年もの協力がなされているので、その成果を地方に伝えるという意味で、C/P の力を効果的に活用すること。民間機関でも IT も含めて地元業者や KADIN など地元のリソースはかなり存在しており、それを活用しない手はない。

3) 他のプログラムとの連携

J-Net 事業も本格的に 2002 年 3 月から稼働する予定であり、既に IETC 内に設置空間も用意されている。

シニア海外ボランティアとの連携も事務所主導で行われる予定である。

中小企業振興プロジェクトとして、立ち上がりの早い非金融部門での連携も期待される。

4) インドネシア側のオーナーシップ

人的面では、さきに述べたようにC/Pを積極的に活用し、自分たちのプロジェクトであるという認識の醸成がまず必要である。財政的にも経常経費は、地方政府やNAFED双方から出すことになっている。インドネシア側のオーナーシップは、まずNAFED/IETCのmanagementが十分にその重要性を認識し、そのための改革を始めることが重要である。まず、適正な財政基盤(IETCには既にあるが)や人材の養成と技術の継承、保存を組織として実行することが大切である。

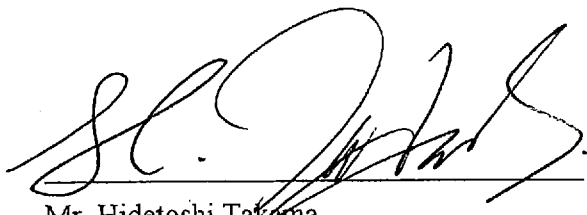
**MINUTES OF MEETING
BETWEEN THE JAPANESE SECOND PREPARATORY STUDY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED
OF THE GOVERNMENT OF REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION ON
THE PROJECT FOR ESTABLISHMENT AND CAPACITY BUILDING OF
REGIONAL EXPORT TRAINING AND PROMOTION CENTERS**

The Japanese Second Preparatory Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. Hidetoshi Takama visited Republic of Indonesia for the purpose of designing the framework of a proposed project for establishment and capacity building of regional export training and promotion centers (hereinafter referred to as "the Project").

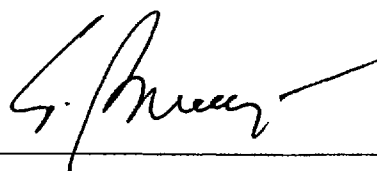
During its stay in Republic of Indonesia, the Team had a series of discussions and exchanged views with the authorities concerned of the Government of Republic of Indonesia over the matters related to the proposed project.

As a result of the discussions, both sides came to reach a common understanding concerning the matters referred to in the document attached hereto.

Jakarta, November 9, 2001



Mr. Hidetoshi Takama
Leader
Second Preparatory Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Gusmardi Bustami
Chairman
National Agency for Export Development
Ministry of Industry and Trade
Republic of Indonesia

Attached Document

1. Framework of the Project

The Project aims at supporting the promotion of SMEs and export in line with decentralization, which are the prioritized programs of the Government of Indonesia for revival of Indonesian economy after the economic crisis. To achieve the aim, the Project will envisage the increase in export of local SMEs which plan to start or expand export business by providing them with export training and information/promotion services.

The Project will harness the results of the Phase 1 and 2 Projects which have been implemented in Indonesia Export Training Center (hereinafter referred to as "IETC"). It is a consensus that the technology and resources for which the export training programs require have been transferred to the counterpart personnel (hereinafter referred to as "C/P") in IETC. Therefore, both Indonesian and Japanese sides will utilize the accumulated resources at maximum.

Based on the common understanding mentioned above, the Team and the Indonesian side discussed and agreed on the framework of the Project as described in the following items.

2. Project Name

The Team and the Indonesian side discussed and agreed that the name of the Project would be "Project for Establishment and Capacity Building of Regional Export Training and Promotion Centers"

3. Implementation Structure

(1) Counterpart Organizations

The counterpart organizations of the Japanese cooperation in the Project are National Agency for Export Development (hereinafter referred to as "NAFED"), IETC, and four Regional Export Training and Promotion Centers (hereinafter referred to as "RETPCs") to be established in Surabaya, Medan, Makassar, and Banjarmasin. The organization charts of NAFED and IETC are respectively shown in Annex 1 and 2, and their budget tables are shown in Annex 3.



As for the scope of cooperation towards NAFED and IETC in the Project, the Team explained and the Indonesian side understood that the Japanese side would extend its assistance for the area which should be reinforced in order to provide SMEs with export training and trade information/promotion services through RETPCs. Therefore, like the illustration of the scope of cooperation towards NAFED and IETC shown in Annex 4, the cooperation will not cover the all functions of NAFED.

In the Project, the Indonesian side planned to extend the functions of Center for Export Information and Trade (hereinafter referred to as "CEIT") to RETPCs together with the export training services of IETC, and requested Japanese assistance for reinforcing the CEIT's activities. In connection with the request, the Team mentioned and the Indonesian side understood the importance of utilizing existing information related to trade and overseas markets. Nowadays, abundant information concerning markets can be accessed through the Internet homepages of trade promotion organizations such as JETRO in Japan, KOTRA in Korea, MATRADE in Malaysia, and many other public and private organizations. Off-line information in the form of publications and CD-ROMs is also available and already accumulated to some extent inside NAFED. The Team suggested and the Indonesian side agreed to make a task force to coordinate the Regional Market Centers and to share market information inside NAFED apart from the Project cooperation.

(2) Project Team and Its Relation with RETPCs

To implement the Project, NAFED and IETC will jointly organize a Project Team and allocate C/P and operational budget to it. The Project Team will be established inside IETC building and some C/P from CEIT of NAFED will be dispatched to the Team. The Indonesian side plans that the functions of the Project Team are as follows:

- a. Implementation of technical policy for training and trade promotion services
- b. Formulation of standard, norm and guidance for training and trade promotion services including IT utilization
- c. Coordination and supervision of implementation and development of RETPCs
- d. Preparation of policy formulation for the development of RETPCs
- e. Transfer of knowledge on training and trade promotion management to RETPCs
- f. Development of module and management tools of training using distance learning
- g. Evaluation of the progress of RETPCs' activities

The composition of the Project Team and the responsibilities of Project Team members

se.7.

gk

are planned by the Indonesian side as follows:

- a. Project Director: Chairman of NAFED
 - Responsible for policy formulation for RETPC development
 - Responsible for issuing Project MOU with the local government
 - To bear overall responsibilities of Project implementation
- b. Vice Project Director: Secretary of NAFED
 - To assist Project Director
 - Responsible for administrative matters including general affairs
- c. Project Manager: Director of CEIT
 - Responsible for implementing managerial and technical matters of the project including training and trade promotion
 - Responsible for selecting NAFED/IETC personnel to be dispatched to the RETPCs as their top management
- d. Vice Project Manager: Director of IETC
 - To assist Project Manager in implementing the Project especially in the field of training
- e. C/P: NAFED and IETC officers to be allocated to Project Team
 - To receive technical transfer from experts
 - Responsible for Project's substantive matters in their represented fields
- f. Administrative Staff: NAFED and IETC staff
 - Responsible for supporting administrative matters of the Project
 - Responsible for leading and advising RETPCs' staff in management operations

For each RETPC, three managers including the head of RETPC will be dispatched from the Project Team to manage RETPCs' activities and transfer the know-how of export training, information, and promotion services to the staff of RETPCs. Whereas, the provincial governments of East Java (Surabaya), North Sumatera (Medan), South Sulawesi (Makassar), and South Kalimantan (Banjarmasin) will establish RETPCs and allocate regional C/P and local operational cost to each RETPC.

The details regarding the responsibilities of the Project Team, provincial governments, and RETPCs will be stipulated in Memorandum of Understanding (MOU) and will be signed by the Chairman of NAFED and the Governors of each province. The draft of MOU is shown in Annex 5.

(3) Communication between NAFED/IETC and RETPCs

LL.7.

ep

The Project Team and RETPCs will communicate each other in the following ways.

- a. Each RETPC should submit monthly report of their activities to the Project Team
- b. Regular Joint Managers Meeting to be held once a year
- c. Joint Managers Meeting by teleconference if available, whenever necessary
- d. Correspondence by mail, fax, e-mail, or group discussion through NAFED's website
- e. Telephone
- f. Periodical visit for evaluation to be held once a month for the first six months and once in every two months for the rest period

(4) Cooperation with Related Organizations

In order to have advice and recommendations on the operation of the project from related governmental organizations and the private sector (KADIN and business associations), Joint Coordinating Committee (JCC) will be organized in Jakarta and Advisory Committees will be organized in each region.

In Makassar, in particular, close cooperation with KADINDA in South Sulawesi should be sought because the KADINDA is quite active in providing various services for SMEs including training and trade information services.

(5) Chart of Implementation Structure

Annex 6 shows a chart that illustrates the implementation structure of the Project including all related organizations/parties.

4. Master Plan

The Team and the Indonesian side discussed the master plan and Project Design Matrix (PDM) of the Project. The tentative master plan agreed between the both sides is as follows, and tentative PDM is as shown in Annex 7.

(1) Overall Goal

Promote the export of SMEs in the regions where RETPCs are established.

(2) Project Purpose

RETPCs (in Surabaya, Medan, Makassar, and Banjarmasin) provide export training,

Le. 7.

af

trade information and promotion services to SMEs in the respective regions.

(3) Output

Output 1: Management and operation system of the project is established at respective RETPCs to provide export training and information/promotion services through collaboration with the Project Team.

Output 2: C/P at RETPCs are skilled in managing export training services.

Output 3: C/P at RETPCs and the Project Team are skilled in utilizing IT, including distance learning techniques, for export training services.

Output 4: C/P at RETPCs and the Project Team are skilled in utilizing IT for trade information and promotion services.

Output 5: C/P at RETPCs are skilled in managing trade information and promotion services (permanent exhibition, mini-resource centers, and distribution of off-line information).

Output 6: C/P at the Project Team obtain know-how of replicating capacity building programs of RETPCs into other regions.

(4) Activities

The activities necessary to achieve the outputs listed above.

5. Japanese Cooperation in the Project

(1) Export Training

Since IETC has experienced Phase 1 and 2 Projects, resources on the export training such as planning, implementation, and evaluation of training courses is accumulated in the organization itself. It is expected, therefore, for IETC to take the initiative in transferring the know-how to RETPCs in the new project.

In RETPCs, distance learning using TV conference system will be implemented as a trial in addition to the conventional group training, which the Indonesian side strongly requested to the Team. During the discussions, the Team expressed its concerns regarding (i) telecommunications cost necessary for operating the system and (ii) the frequency of using the system. In response to the item (ii), the Indonesian side explained to the Team that the system would be necessary and could be justified by showing its implementation plan of distance learning courses and by comparing the



costs of conventional training and distance learning by using the system as well as the costs of renting and purchasing the system. The documents shown by the Indonesian side to justify the necessity of TV conference system are as shown in Annex 8. However, as for the item (i) above, the Team could not get the satisfactory justification. Therefore, the TV conference system will be rented for the first year and used for distance learning as a trial between Jakarta and Surabaya.

In addition to the distance learning using TV conference system, the Team suggested that digitization of educational materials and distribution of them to RETPCs in the form of CD-ROMs, for example, would be effective to equalize the training levels in the regions. The digitized materials can be distributed through web-site in the future when the Internet prevails more, which will have the effect of filling the gap in training opportunity between Jakarta and other regions, and expanding the benefits to Internet users in many other regions where RETPCs are not established.

As for the Japanese assistance in this field, information technology (IT) necessary for implementing distance learning courses will be transferred by short-term experts or through C/P training in Japan. In addition, some lecturers will be dispatched for seminars on trade-related hot issues, as the same as Special Training Program (STP) in Phase 2 Project, on the short-term basis to Jakarta and regions, if necessary.

(2) Trade Information and Promotion Services

As it was pointed out by "The second phase of the follow-up study on the development of supporting industries in the Republic of Indonesia, export promotion", Development Study of JICA reported in 2000, there is a strong demand among SMEs for overseas market information. In RETPCs, it is required to provide SMEs not only with export training but also with trade promotion services, particularly the provision of market information, for the purpose of responding practical needs of SMEs.

In the field of trade information and promotion services, the items to be supported by the Japanese side in the Project will be as follows:

- a. To prepare the environment of RETPCs where SMEs can access market information,
- b. To support the application of IT for trade information/promotion services by reinforcing the web-site of NAFED, and
- c. To dispatch Japanese short-term experts for the purpose of introducing Japan's experience in market information/promotion services in order to support the upgrading of CEIT's activities for the commencement of the services in RETPCs.

In connection with the item c. above, the Indonesian side insisted on its needs for the assistance in the fields of product analysis and market analysis. The Team, however, expressed its opinion that the said fields should not be dealt with in the Project because to train NAFED staff so as to be able to analyze specific products and markets requires a long time and considerable efforts, and also outside the scope of the Project. It would be rather efficient to make use of outside human resources such as those in business associations and experienced exporters. The Indonesian side understood the opinion of the Team.

In addition to the cooperation in the Project mentioned above, the Team explained to the Indonesian side that there would be a possibility to dispatch silver experts to the regions where RETPCs are to be established for the purpose of SME consultation, if there would be needs in the regions. The service of silver experts will not be a component of the Project, but will be coordinated with the implementation of the Project in order to enhance the effects of the Project in terms of export promotion of local SMEs.

6. Japanese Cooperation for RETPCs

JICA will extend its cooperation for four regions, namely Surabaya, Medan, Makassar, and Banjarmasin where it is judged appropriate to establish RETPCs based on the following six criteria written in the Minutes of Meeting signed on August 24, 2001.

- (1) Needs for RETPC
- (2) Firm structure to support RETPC
- (3) Financial readiness to operate RETPC
- (4) Availability of competent staff
- (5) Availability of building and facilities for RETPC
- (6) IT infrastructure

However, the scope and contents of cooperation for the above regions will not always be the same but will vary from place to place. The Team explained and the Indonesian side understood that the cooperation for the said four regions would be subject to the commitment of provincial governments especially in terms of budgetary readiness. In case that a provincial government is not able to allocate operational budget for RETPC, Japanese side will not extend its cooperation to the region. Both sides further confirmed that the regions to be covered in the Project should not be changed or added even if the cooperation for one or more RETPCs is cancelled due to the budgetary problem.



7

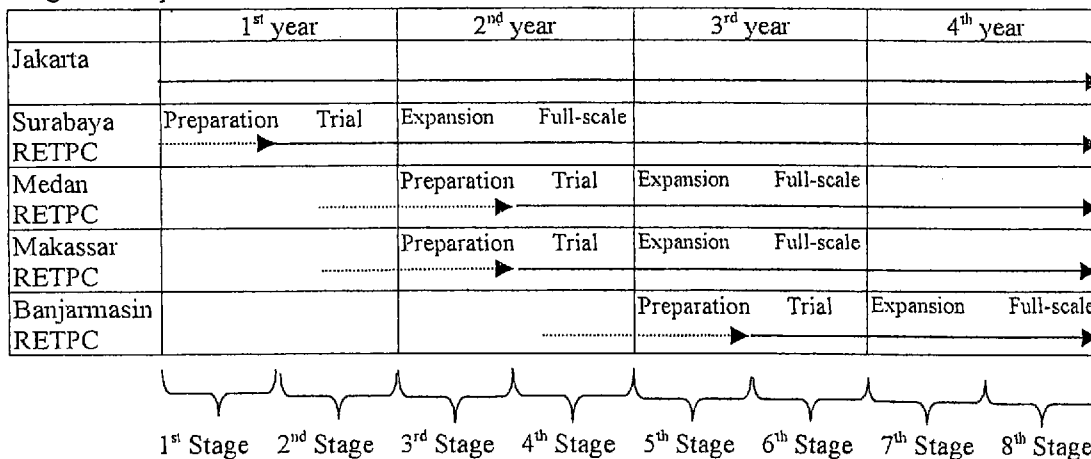


The cooperation for the regions will be implemented mainly by NAFED/IETC, and JICA will support the efforts. The contents of Japanese cooperation with RETPCs will be as follows:

- a. Installation of necessary equipment
- b. Dispatch of lecturers (short-term experts) for seminars in the regions
- c. Technology transfer to regional C/P by short-term experts
- d. Training of competent regional C/P in Japan, if necessary
- e. Dispatch of silver experts for SME consultation

7. Cooperation Period

Both the Team and the Indonesian side discussed and tentatively agreed that the cooperation period of the Project would be four years. During the four years, above-mentioned four RETPCs will be established; one in the first year (in Surabaya), two in the second year (in Medan and Makassar), and one in the third year (in Banjarmasin). The image of cooperation is as follows:



1st Stage ·· 1st to 6th month

- a. Provision of equipment for NAFED/IETC and start transferring the knowledge on IT utilization for training and information/promotion services to the C/P in Jakarta
- b. Establishment of the 1st RETPC, allocation of budget and staff for the RETPC, and renovation of buildings

2nd Stage ·· 7th to 12th month

- a. Start of technology transfer in the field of off-line trade information and promotion services for the C/P in NAFED/IETC and the 1st RETPC

Handwritten signature

Handwritten signature

- b. Preparation of distance learning materials by the C/P in NAFED/IETC
- c. Provision of equipment for the 1st RETPC and trial implementation of export training in the region (trial of a series of export training consisting of needs survey, planning of training courses, implementation of the courses, and evaluation)
- d. Provision of equipment for the 1st RETPC and transfer of technology for using distance learning equipment to the C/P in the 1st RETPC
- e. Preparation for establishing the 2nd and 3rd RETPCs (Request for operational budget and renovation cost)

3rd Stage ··13th to 18th month

- a. Expansion of the activities of the 1st RETPC (Full-scale operation of export training (start to charge), start of trade information and promotion services, trial of distance learning)
- b. Establishment of the 2nd and 3rd RETPCs, allocation of budget and staff for the RETPCs, and renovation of buildings

4th Stage ··19th to 24th month

- a. Full-scale operation of the 1st RETPC (sustainable implementation of export training including distance learning, provision of trade information and promotion services with charges)
- b. Provision of equipment for the 2nd and 3rd RETPCs and trial implementation of export training in each region (trial of a series of export training consisting of needs survey, planning of training courses, implementation of the courses, and evaluation)
- c. Provision of equipment for the 2nd and 3rd RETPCs and transfer of technology for using distance learning equipment to the C/P in the 2nd and 3rd RETPCs
- d. Preparation for establishing the 4th RETPC (Request for operational budget and renovation cost)

5th Stage ··25th to 30th month

- a. Expansion of the activities in the 2nd and 3rd RETPCs (Full-scale operation of export training (start to charge), start of trade information and promotion services, trial of distance learning)
- b. Establishment of the 2nd and 3rd RETPCs, allocation of budget and staff for the RETPCs, and renovation of buildings

6th Stage ··31st to 36th month

- a. Full-scale operation of the 1st RETPC (sustainable implementation of export training including distance learning, provision of trade information and promotion services with charges)
- b. Provision of equipment for the 4th RETPC and trial implementation of export training in

ll. 7.

fl

each region (trial of a series of export training consisting of needs survey, planning of training courses, implementation of the courses, and evaluation)

- c. Provision of equipment for the 4th RETPC and transfer of technology for using distance learning equipment to the C/P in the 4th RETPC

7th Stage ··37th to 42nd month

- a. Expansion of the activities in the 4th RETPC (Full-scale operation of export training (start to charge), start of trade information and promotion services, trial of distance learning)

8th Stage ··43rd to 48th month

- a. Supporting 4 RETPCs' independent operation

8. Input by the Japanese Side

(1) Experts

Two long-term experts, such as Chief Advisor and Project Coordinator, will be dispatched and stationed in Jakarta to manage the operation of the Project. The Indonesian side requested an additional long-term expert in charge of IT, but the Team explained the difficulty to recruit an expert in the field, but a long-term expert in the field other than IT might be dispatched, if necessary, in addition to the two long-term experts mentioned above.

As for short-term experts, the following fields will be covered in the Project.

- a. Advise on Web-site
- b. Advise on Database
- c. Special Training Program in regions
- d. Library Management
- e. Catalog Making
- f. Exhibition Technique
- g. Publication for Export Promotion
- h. Others if necessary

(2) Training of C/P

Training of RETPC staff will be carried out inside Indonesia, in principle, in the form of group training in Jakarta and technology transfer in regions by the managers to be dispatched from Project Team. The training in Japan will be thoughtfully examined for its necessity and implemented only for the new techniques which have not been dealt

with in Phase 1 and 2 Projects. Capable C/P in RETPCs could be accepted to the training in Japan. The Team mentioned that 0 to 3 C/P would be accepted to the training in Japan annually in principle.

(3) Provision of Equipment

As it is scheduled that the equipment for distance learning will be installed in IETC under J-net project of JICA, the Team explained and the Indonesian side understood that the Project would utilize the J-net equipment as much as possible. In Jakarta, the minimum scale of equipment necessary for making distance learning materials and providing on-line trade information/promotion services, such as servers and computers, will be installed.

For RETPCs, the equipment necessary for fulfilling their mission as export training and information/promotion centers, such as computers to be used for training and accessing information and trade-related books except for periodicals, will be provided. Since NAFED is also planning to purchase some books for RETPCs, the Japanese provision of books will cover only the part which NAFED will not deal with. The Team requested the Indonesian side to renew the books after the cooperation period with its own budget. As for the equipment for distance learning, as mentioned above, both sides agreed to try to use TV conference system for the first year on rental basis in Surabaya. To purchase it or not will be discussed based on the result of the trial use.

The Indonesian side explained to the Team that the equipment to be installed in RETPCs would belong to the central government during the cooperation period and would be handed over to respective provincial governments after the termination of the Project. In this regard, the Team requested and the Indonesian side agreed to send a letter to Resident Representative of JICA Indonesian Office prior to the handover in order to notify the transfer of ownership.

The tentative lists of equipment to be provided by the Japanese side are as shown in Annex 9-1 and 9-2, and the tentative network layout design is as shown in Annex 9-3.

(4) Silver Experts

As mentioned above, JICA plans to dispatch silver experts in the regions where RETPCs are established for the purpose of SME consultation. The collaboration between the Project and the silver experts is expected to be in a coordinating manner.



10. Input by the Indonesian Side

(1) NAFED/IETC

- a. C/P (including those to be dispatched to RETPCs) : shown in Annex 10
- b. Operational budget for the Project including travel expenses of C/P to regions : Annex 11
- c. Know-how on export training (syllabus, training materials, manuals, pertchart, etc)
- d. Renovation cost of RETPCs

Time schedule of request and approval of counterpart budget is as shown in Annex 12.

(2) Provincial government

- a. Land, building, facilities of RETPCs (including furniture, telephone, fax machine, etc.)
- b. Staff of RETPCs
- c. Operational budget for operating RETPCs (costs for stationary, computer maintenance/network, local transportation, meeting, exhibition, maintenance/cleaning service, installation of telephone lines, telephone utility, electricity and water, honorarium for local staff, and so forth)

11. Project Site

The Project Team comprising the staff from NAFED/CEIT and IETC will be located in IETC building. At present, NAFED and IETC are in different buildings, but it is planned that some C/P from CEIT will move to IETC building in March 2002.

12. Project Management Charts

- (1) Provisional Plan of Operations (PO) : Annex 13
- (2) Tentative Schedule of Implementation (TSI) : Annex 14

13. List of Attendants

The attendants in the meeting were as shown in Annex 15.

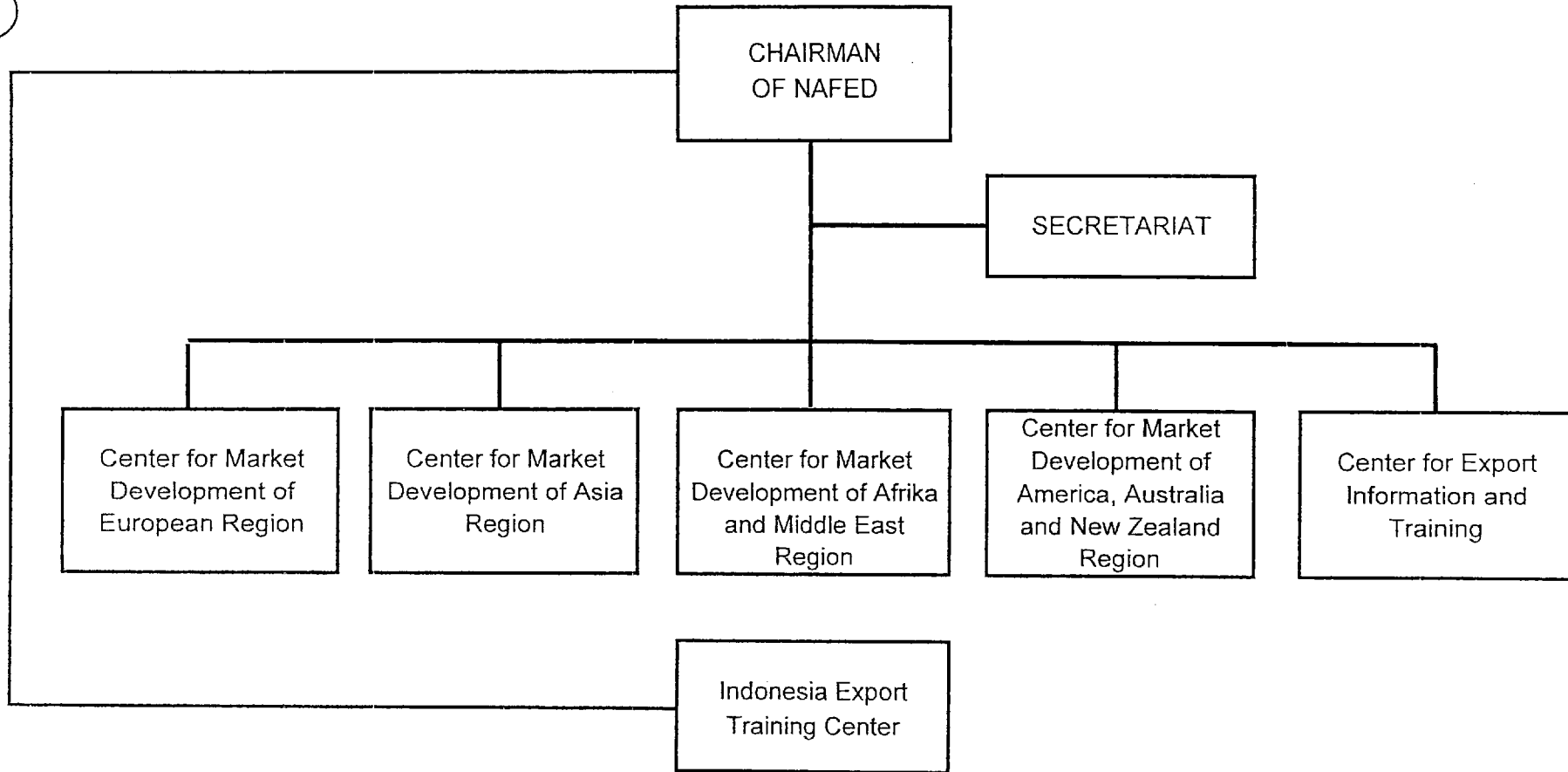


List of Annexes

- Annex 1-1 Structure Organization of NAFED
- Annex 1-2 Organization Chart of Center for Export Information and Training
- Annex 2 Organization Chart of IETC
- Annex 3 Budget of NAFED and IETC (from 1999 to 2001)
- Annex 4 Scope of Cooperation for NAFED and IETC in the Project
- Annex 5 Draft of Memorandum of Understanding (MOU) between NAFED and Provincial Governments
- Annex 6 Implementation Structure of the Project
- Annex 7 Provisional Project Design Matrix (PDM)
- Annex 8-1 Cost Comparison between Face-to-face Training and Distance Learning
- Annex 8-2 Cost of Rental Use and Purchasing of TV Conference Equipment
- Annex 8-3 Operational Plan of Distance Learning using TV Conference System
- Annex 9-1 Tentative List of Equipment to be Provided by the Japanese Side (in IETC)
- Annex 9-2 Tentative List of Equipment to be Provided by the Japanese Side (in RETPCs)
- Annex 9-3 Tentative Network Layout Design
- Annex 10 List of Counterpart Personnel from NAFED and IETC
- Annex 11 Project Counterpart Budget of NAFED and IETC
- Annex 12 Schedule of Budget Request and Allocation for the Project on the Indonesian Side
- Annex 13 Provisional Plan of Operations (PO)
- Annex 14 Tentative Schedule of Implementation (TSI)
- Annex 15 List of Attendants

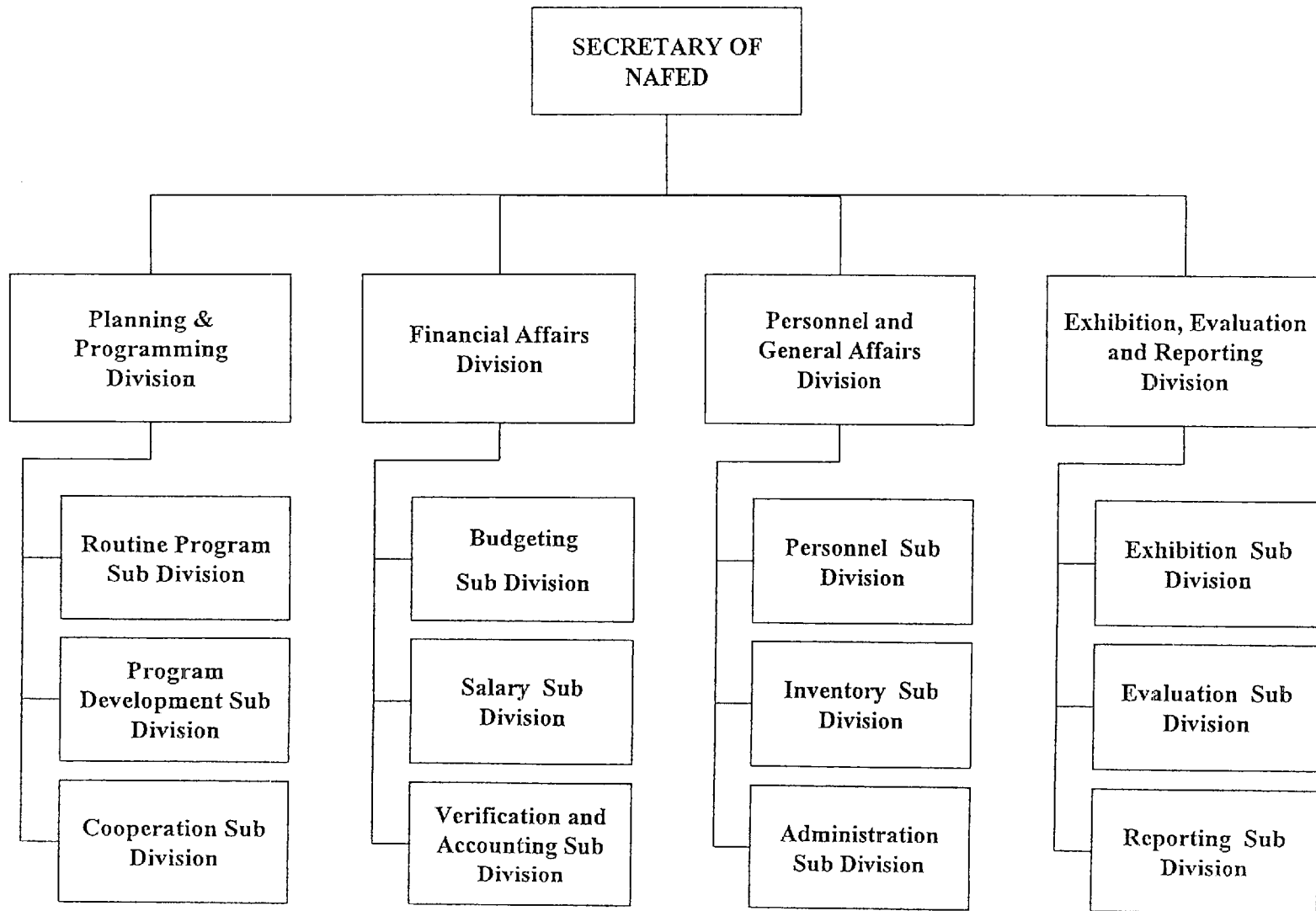
Annex 1-1 STRUCTURE ORGANIZATION OF NAFED

Handwritten initials



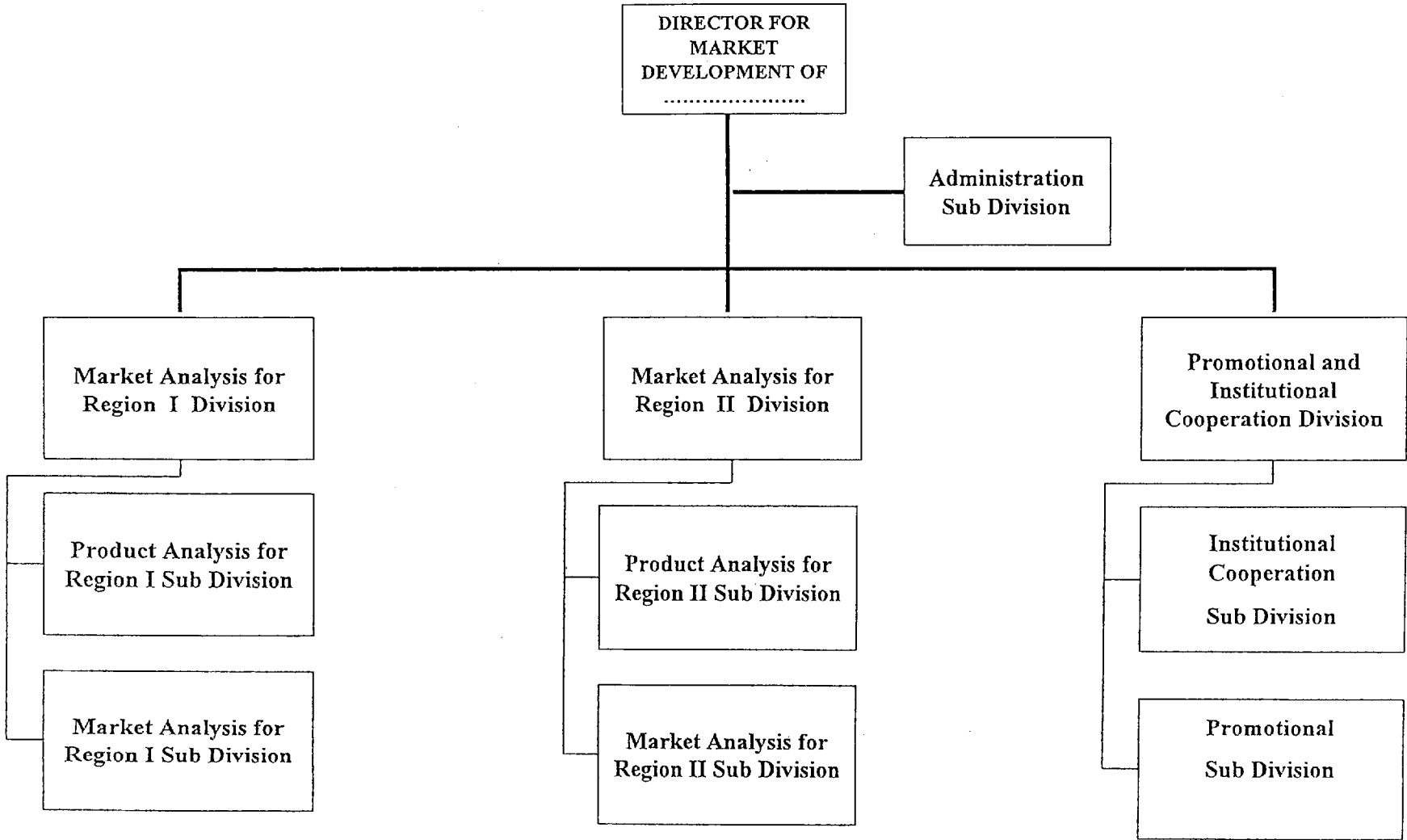
Handwritten initials

Handwritten initials/signature



Handwritten initials/signature

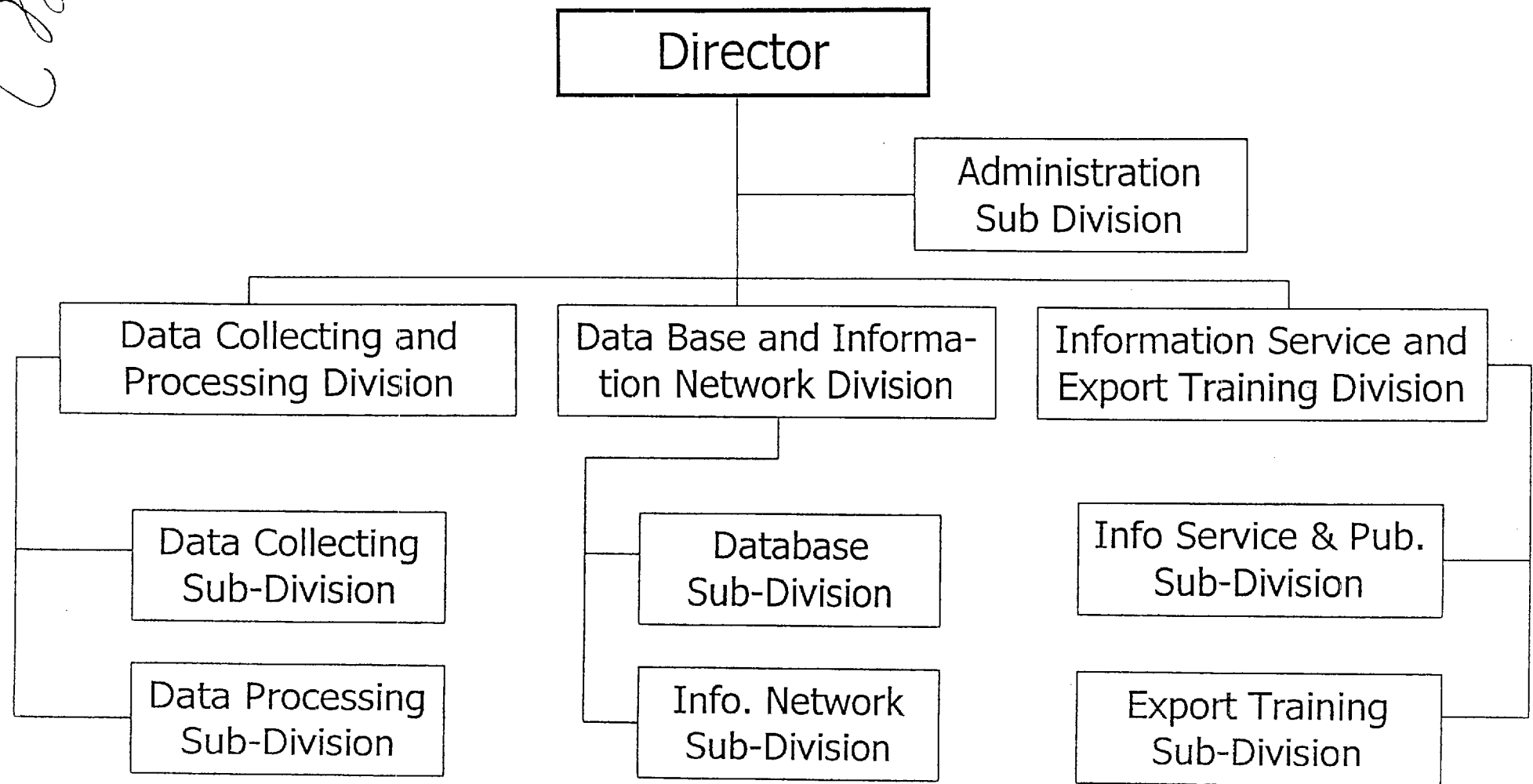
807.



3/4

20.7.

Annex 1-2 CENTER FOR EXPORT INFORMATION AND TRAINING

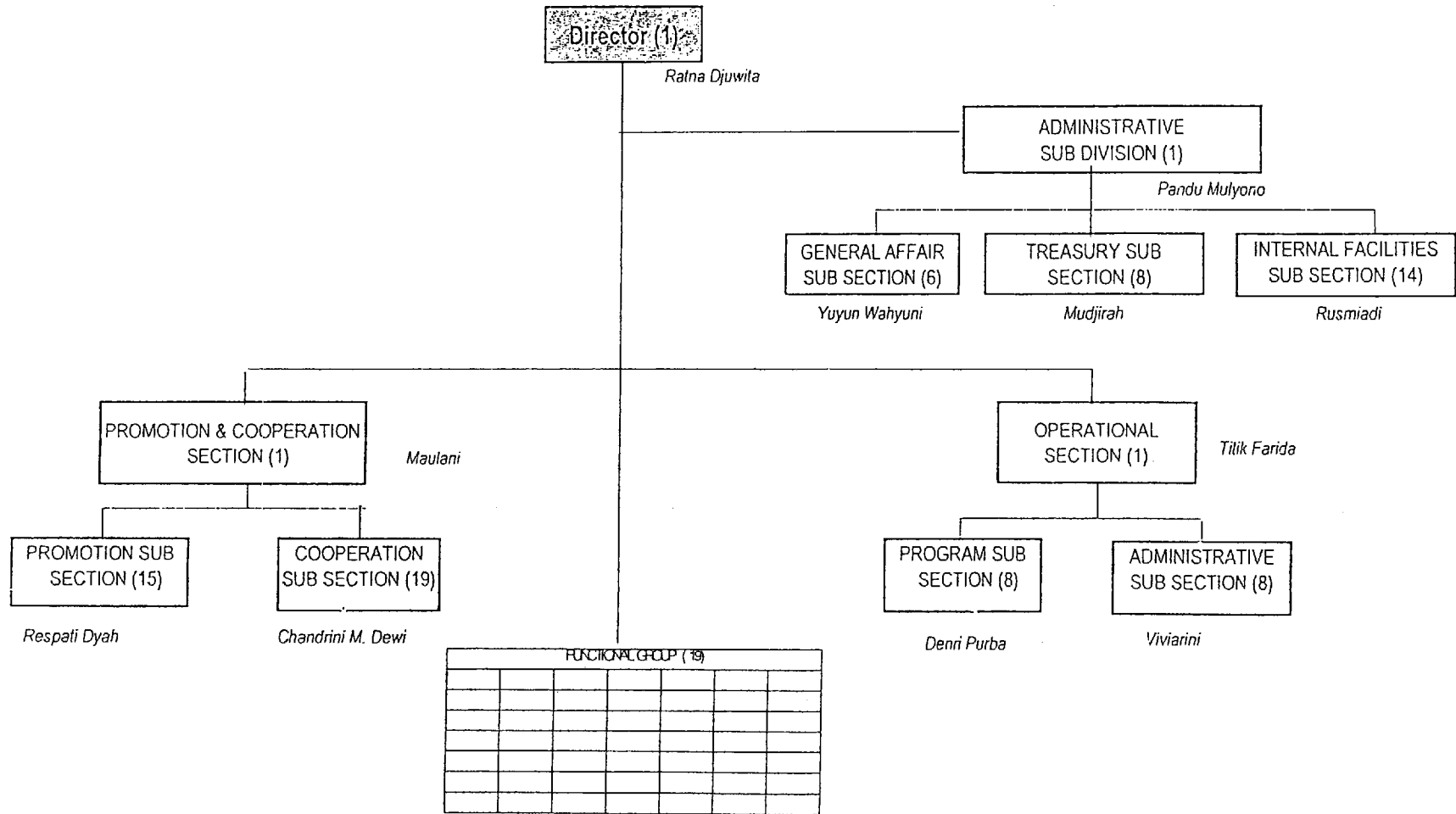


- 173 -

4/2

Organization Chart of IETC

Handwritten signature



Handwritten signature

Annex 3

BUDGET OF NAFED & IETC from 1999 to 2001 (Thousand Rp)

NAFED's side

No	Type of Budget	F.Y 1999/2000	F.Y. 2000 *	F.Y. 2001	F.Y 2002***
1	Routine Budget	5,354,990	4,414,210	5,720,361	6,361,167
2	Project :				
	- Export Development & Dissemination Sub Project	1,423,456	698,433	3,036,957	Total
	- Domestic Trade Fair and Export Facilities Sub Project	3,046,810	1,669,215	2,258,914	Project :
	- Program Strengthening & Foreign Cooperation Sub Project	2,403,813	3,056,920	10,768,210	44,750,000 ****
	- Regional Market Development	8,950,395	11,700,449	7,457,695	
	Total	21,179,464	21,539,227	29,242,137	51,111,167

IETC's side

1.	Routine Budget	1,920,751	1,557,000	1,909,139	3,013,825
2.	Indonesia Export Training Sub Project	1,941,500	955,415	1,288,613	1,450,000
3.	Self Financing Budget	1,783,538	1,680,808	2,750,000	3,000,000
	Total	5,645,789	4,193,223	5,947,752	7,463,825
	Allocation for Training **				
	- Routine Budget	400,000	364,000	279,000	Not discussed yet
	- Indonesia Export Training Sub Project	855,056	446,600	698,148	Not discussed yet
	- Self Financing Budget	945,301	857,118	1,250,000	Not discussed yet
	Sub Total	2,200,357	1,667,718	2,227,148	Not discussed yet

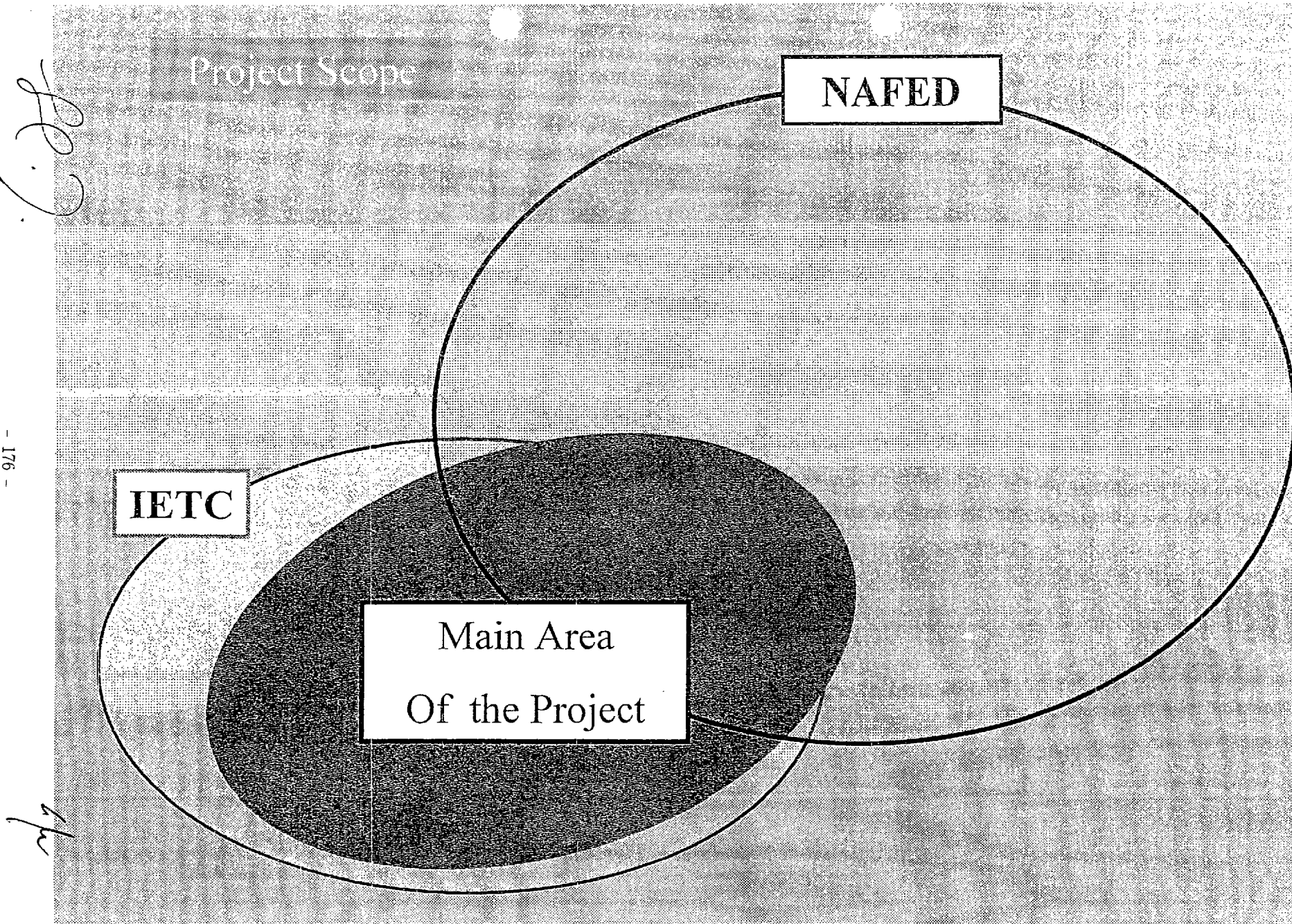
Note :

* FY 2000 is only nine months.

** Budget for training is included in the IETC total budget

*** FY 2002 the amount of budget is the figure before final discussion with Ministry of Finance

**** Including Project Counterpart budget (amount Rp 1.25 billion including RETPC building renovation)



SPJ

SPJ

Draft of Memorandum of Understanding (MOU) between NAFED
and Provincial Governments

AGREEMENT
BETWEEN
NATIONAL AGENCY FOR EXPORT DEVELOPMENT
MINISTRY OF INDUSTRY AND TRADE
AND
LOCAL GOVERNMENT PROVINCE OF EAST JAVA
ON
ESTABLISHMENT AND CAPACITY BUILDING OF
REGIONAL EXPORT TRAINING AND PROMOTION CENTER (RETPC) IN SURABAYA

On this day of November in the year of 2001, in the city of Surabaya in Jl....., the under sign :

1. Gusmardi Bustami : Head of National Agency For Export Development, on behalf of the National Agency for Export Development, Ministry of Industry and Trade, Republic of Indonesia, as the First Party
2. Imam Utomo : Governor of East Java Province, on behalf of the Local Government of East Java Province, as the Second Party

Within the framework of Memorandum of Understanding (MOU) for export development program between National Agency For Export Development, Ministry of Industry and Trade with the Local Government of East Java Province herewith sign on date November 2001, herewith both parties agree to enter into cooperative agreement through the Establishment and Capacity Building of Regional Export Training and Promotion Center (RETPC) in Surabaya East Java Province with the purpose of RETPC in Surabaya provide international trade training, international market information and trade promotion services to SMEs.

This agreement is implemented in accordance with the following articles:

Article 1

Both party agree to cooperate the establishment of RETPC in Surabaya with main activities :

- a. international trade training including distance learning with TV conference system,
- b. dissemination of international market information,
- c. international market information and trade promotion through internet services and/or by other media.

Article 2

Second Party will establish RETPC to be a Technical Unit Service under the Industry and Trade office in East Java Province.



Article 3

3.1. Management of training, international market information and trade promotion through internet.

3.1.1. First Party responsible for :

- a. providing guidance to formulate RETPC program such as international trade training, international market information and trade promotion through internet and/or by other media.
- b. providing training for RETPC personnel in the field of international trade training management, international market information and trade promotion through internet and/or by other media.
- c. supporting RETPC in formulating the annual program of international trade training, international market information and trade promotion services through internet and/or by other media.
- d. Evaluation of RETPC's activities every six months.

3.1.2. Second Party responsible for :

- a. preparing annual activities program and manual of international trade training, international market information and trade promotion through internet and/or by other media.
- b. conducting international trade training, international market information and trade promotion services through internet and /or by other media in the region.
- c. continuously increase the above activities to business society especially SME.

3.2. Human Resources Development

3.2.1. First Party responsible for :

Providing counterparts for the RETPC , such as the Head of RETPC, Head of Training Division and Head of Information Division.

3.2.2. Second Party responsible for :

Providing human resources for RETPC in the region, such as the Vice Head of RETPC, Head of Administrative Division and supporting personnel.

3.3. Equipment and Facilities

3.3.1. The First Party responsible for :

- a. sending and install the equipment donated by JICA to RETPC .
- b. providing maintenace and operational training of the said equipment.
- c. controlling equipment utilization

3.3.2. The Second Party responsible for :

- a. utilizing the equipment for the RETPC activities
- b. maintaining the equipment
- c. providing land and building for for RETPC activities
- d. providing office facilities such as furniture, air condition, telephone, facsimile, photo copy machine, computer, printer, and stationary
- e. providing facilities for training, information and trade promotion through intertnet such as furniture, air condition, overhead projector, screen, telephone, facsimile, photocopy machine, etc.
- f. submitting monthly and annual report to the First Party



Article 4

4.1.1. Budget

- 4.1.1. The First Party responsible for :
- a. providing renovation budget for RETPC building
 - b. providing the budget for accomodation, traveling from Jakarta-Surabaya vis-versa for the counterparts during their assignment in RETPC.
- 4.1.2. The Second Party responsible for :
- a. providing annual operational budget , such as maintenance cost for the building, cleaning service, computer, printer, stationary, telephone installation, telephone pulse, electricity, water, air condition, training, information and trade promotion facilities, telephone pulse for Distance Learning activities, honorarium for local personnel, and local transportation.
 - b. providing budget for salary and incentive of RETPC personnel excluding Head of RETPC, Head of Training Division, and Head of Information Division.
 - c. provide budget for accommodation , traveling, and lumpsum for RETPC personnel during On the Job Training in Jakarta.
 - d. providing traveling cost and accommodation for Instructor from Jakarta, in case appropriate instructor is not available in Surabaya.

4.2. Revenue

The revenue from training, information and promotion services conducted in RETPC will be managed by themselves.

Article 5

In case there are disagreement with regard to the implementation of this agreement, disputed matters will be resolved through consensual deliberation between the two parties, in the case, the mutual agreement is not reach through the said process, the disputed matters will be resolved through mediator comprising of Secretary General of Ministry of Industry and Trade, Administrative Secretary to the Provincial Government and Secretary General of the Ministry of Domestic Affairs and Regional Autonomy,

Article 6

Other matters that are not regulated under this agreement, an Addendum will be attached to this agreement. The Addendum will become an integral and inseparable part to this agreement.

Article 7

This agreement will remain valid for 4 (four) years and will be enforced as of the date of signing and will be extendable based on mutual agreement between both parties.

Article 8

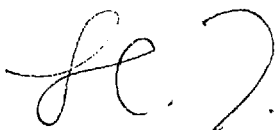
This agreement are produced in 2 (two) copies, each one has the same legal force.

The Second Party,

The First Party,

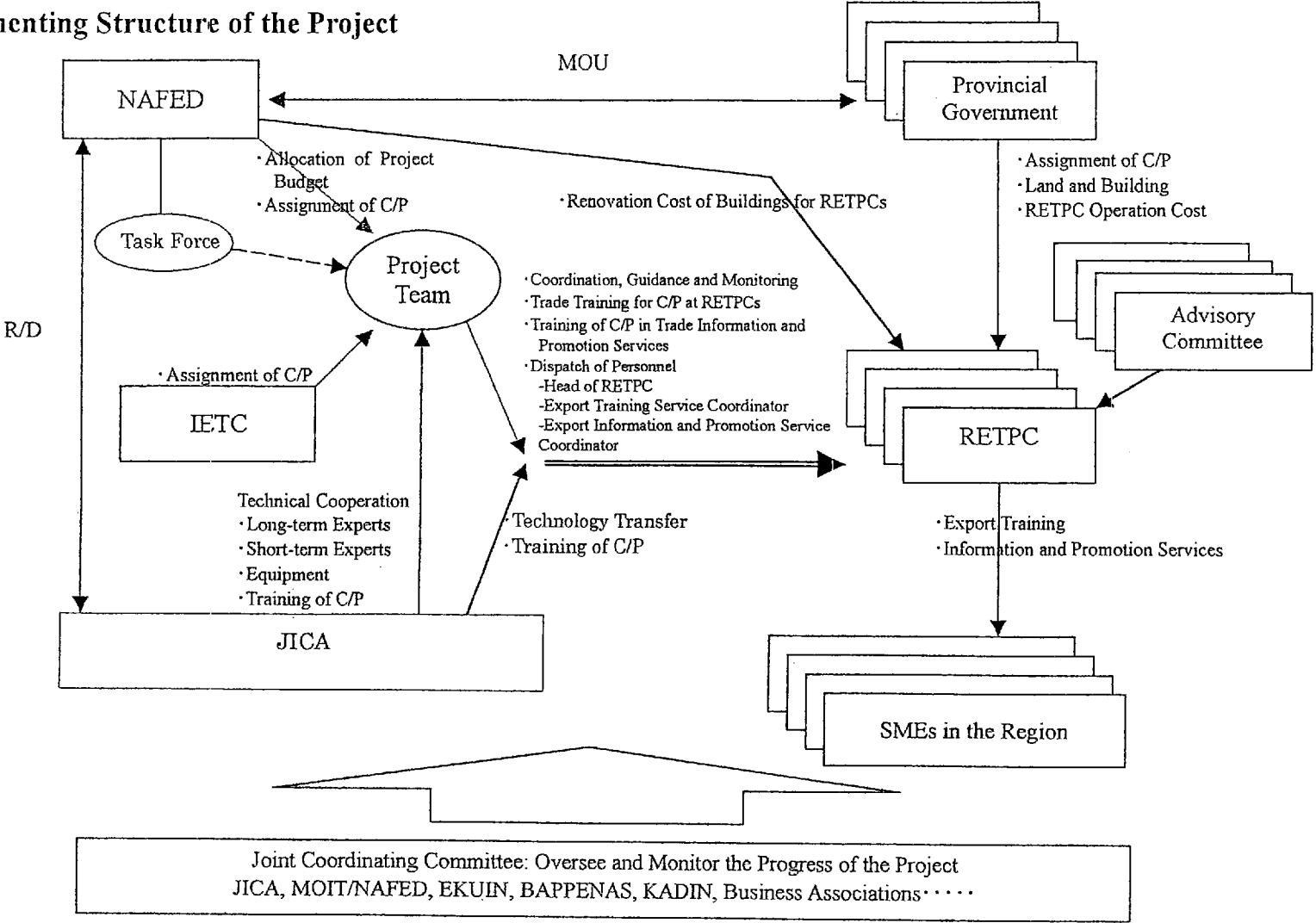
Imam Utomo

Gumardi Bustami



Handwritten signature or initials in the top left corner.

Implementing Structure of the Project



Handwritten initials or signature at the bottom left.

Provisional Project Design Matrix (PDM)

Project Title: Project for Establishment and Capacity Building of Regional Export Training and Promotion Centers (RETPCs) Project Period: 2002-2006 (4 years)

Target Places: Jakarta, Surabaya, Medan, Makassar, and Banjarmasin

Target group: 4RETPCs, SMEs that plan to start or expand export business in the regions where RETPCs are to be established, IETC and NAFED

Drafted by: Japanese Second Preparatory Study Team Date Drafted: Nov 8, 2001

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p><u>Overall goal</u> Promote the export of SMEs in the regions where RETPCs are established</p>	<p>1. Yearly development of export share against annual sales (Statistical difference among SMEs) 2. Value added of SMEs in the regions 3. Export of SMEs in the regions 4. Level of personnel as exporters/traders that have utilized the services at RETPCs and number of successful enterprises</p>	<p>1. Sample survey for SMEs, which have used or not used services at RETPCs. 2. Statistical yearbook in respective regions 3. Occasional monitoring survey on SMEs 4. Occasional monitoring survey on SMEs that have utilized the services at RETPCs</p>	<p>The SME development policy through export promotion in each province remains unchanged.</p>
<p><u>Project purpose</u> RETPCs (in Surabaya, Medan, Makassar, and Banjarmasin) provide export training, trade information and promotion services to SMEs in the respective regions.</p>	<p>(Training Services) 1-1. ___ participants from SMEs receive export training courses at respective RETPCs per year (face-to-face) 1-2. ___ participants from SMEs receive export training courses at respective RETPCs by utilizing IT. 1-3. At least ___% of SMEs that have sent their staff to RETPCs for training utilizes RETPCs once again for the training purpose. (Trade Information) 2-1. An annual total of 1000 SMEs (500 SMEs in case of Banjarmasin) utilize information resources (such as a mini-resource center) at a RETPC 2-2. 50 visitors make access to the homepage of NAFED on a daily basis. (Trade Promotion) 3-1. ___ SMEs that participated in virtual exhibitions (Self-financing) 4-1. At least ___% of the total revenue of a RETPC is self-generated by the RETPC.</p>	<p>Record at RETPCs and the Project Team</p>	<p>1. The foreign demand on export from respective provinces will not decline drastically in a long run. 2. The foreign exchange rate of the currency, Rupiah, will be relatively stable.</p>

107

<p><u>Outputs.</u></p> <p>1. Management and operation system of the project is established at respective RETPCs to provide export training and information/promotion services through collaboration with the Project Team.</p> <p>2. C/P at RETPCs are skilled in managing export training services</p> <p>3. C/P at RETPCs and the Project Team are skilled in utilizing IT, including distance learning techniques, for export training services.</p>	<p>1-1. Number of C/P and administrative staff 1-2. Budget allocation and self-financed budget 1-3. Number of books in mini-resource centers 1-4. Number of public relations (leaflets, etc.) 1-5. Number of meetings between the Project Team and RETPCs or number of reports submitted to the Project Team by RETPCs.</p> <p>2-1. Types and number of training courses where course planners have been trained 2-2. Number of need surveys conducted and its analysis 2-3. Types and number of training materials, manuals, lists, PERT charts, and their revised versions in consideration of regional conditions 2-4. Types and number of training programs implemented for course planners 2-5. Types and number of training programs provided to SMEs at RETPCs. 2-6. Evaluation of training programs and instructors</p> <p>3-1. Number of C/P at RETPCs and the Project Team trained for operating and maintaining IT for training services. 3-2. Types and number of training programs provided to SMEs at RETPCs by means of IT 3-3. Number of topics for distance learning 3-4. Evaluation results of training programs utilizing IT 3-5. List of operation and maintenance manual of IT equipment and facilities for training services 3-6. Frequency of equipment usage and the condition of maintenance</p>	<p>1-1. List of C/P staff assigned 1-2. Budget and realization of the budget 1-3. Record at mini-resource centers at RETPCs 1-4. Public relation records at RETPCs and the Project Team 1-5. Meeting and communication records at RETPCs and the Project Team</p> <p>2-1. to 2-6 Records at RETPCs and the Project Team</p> <p>3-1. to 3-6. Records at RETPCs and the Project Team</p>	<p>The economic conditions in the region and the country as a whole will not adversely affect the allocation of routine budgets for RETPCs.</p>
---	---	--	---

11

207

4. C/P at RETPCs and the Project Team are skilled in utilizing IT for trade information and promotion services.

- 4-1. Number of C/P at RETPCs and the Project Team trained for operating and maintaining IT for trade information and promotion services.
- 4-2. Types of trade information and promotion services provided to SMEs at RETPCs by means of IT
- 4-3. Updating of trade-related information on the NAFED homepage
- 4-4. Types and number of complaints from visitors to the homepage
- 4-5. List of training manuals for management of the homepage

4-1 to 4-5.
Records at RETPCs and the Project Team

5. C/P at RETPCs are skilled in managing trade information and promotion services (permanent exhibition, mini-resource centers, and distribution of off-line information).

- 5-1. Number of C/P at RETPCs and the Project Team trained in preparing and disseminating trade information
- 5-2. Number of C/P at RETPCs in managing mini-resource centers
- 5-3. Number of C/P at RETPCs trained in trade promotion services.
- 5-4. List of operation and maintenance manual (or instruction) of equipment for trade information and promotion services
- 5-5. Frequency of equipment usage and the condition of maintenance
- 5-6. SMEs' evaluation of trade information and promotion services by RETPCs

5-1 to 5-6.
Records at RETPCs and the Project Team

6. C/P at the Project Team obtain know-how of replicating capacity building programs of RETPCs into other regions.

- 6-1. Preparation of manuals or check lists for replication of capacity building of RETPCs in other regions
- 6-2. Number of C/P at the Project Team trained for replication of capacity building programs of RETPCs in other regions

6-1 to 6-2.
Records of the Project Team

208

807

2/4

Input		
<p>Activities</p> <p>1-1.NAFED and IETC will jointly organize a Project Team, assign C/P and allocate the budgets for the project.</p> <p>1-2.RETPCs will be established in Surabaya, Medan, Makassar and Banjarmasin.</p> <p>1-3.RETPCs will prepare medium and short-term management and operation plans for RETPCs, assign C/P and receive allocation of budgets for operating costs of the centers in accordance with the plans.</p> <p>1-4. RETPCs and the Project Team will carry out public relations of the project.</p> <p>1-5.RETPCs and the Project Team will build up a close communication channel for the smooth implementation of the project.</p> <p>2-1.Technology transfer of a set of skills and know-how for planning and management of training courses to C/P at RETPCs</p> <p>2-2.Training needs survey and its analysis will be conducted in respective regions</p> <p>2-3.C/P at RETPCs will be trained in planning and managing training courses based on results of the local needs survey.</p> <p>2-4.Adjustment will be made on existing educational contents to be used for training courses at RETPCs, based on the results of local needs survey in respective regions.</p> <p>2-5.C/P at RETPCs will be trained in implementing training courses under the instruction and supervision of C/P dispatched from the Project Team.</p>	<p>The Japanese side</p> <p>Experts:</p> <p>Long term experts 2 persons:</p> <ul style="list-style-type: none"> -Chief advisor -Coordinator <p>Short term experts:</p> <ul style="list-style-type: none"> -Expert for trade information and promotion -Expert for IT, including techniques to develop educational contents -Expert for trade promotion on "hot issues" <p>Training</p> <p>in Japan (C/P from NAFED/IETC and RETPCs) 0~3 persons/year</p> <p>in Jakarta</p> <p>Training of C/P at RETPCs by NAFED/IETC</p> <p>Equipment</p> <p>in IETC</p> <p>Equipment for distance learning</p> <p>Equipment for information dissemination such as PCs, servers, related software</p> <p>in RETPCs</p> <p>Equipment for distance learning and training such as PCs</p> <p>Materials for information dissemination such as books</p>	<p>The Indonesian Side</p> <p>C/P Personnel:</p> <p>NAFED:</p> <ul style="list-style-type: none"> C/P for market and competitive analysis C/P for trade information C/P for information technology C/P for administration <p>IETC:</p> <ul style="list-style-type: none"> C/P for training management for distance learning and developing distance learning program: C/P for technical matters of distance learning technology: C/P for administration: <p>Local governments:</p> <ul style="list-style-type: none"> C/P at RETPCs <p>Facilities:</p> <p>Local governments:</p> <ul style="list-style-type: none"> Offices, office equipment and supplies for RETPC <p>Local cost</p> <p>NAFED:</p> <ul style="list-style-type: none"> Project budgets Renovation cost for RETPCs and allowances/travel expenses of dispatched personnel to RETPCs <p>Local governments:</p> <ul style="list-style-type: none"> Operation cost of RETPCs (including maintenance of building, training and trade promotion facilities)

PP. 7.

2/3

3-1. Equipment and facilities for IT will be installed at RETPCs and IETC for training services.
3-2. C/P of RETPCs and the Project Team will be trained for operating and maintaining the equipment and facilities.
3-3. C/P of the Project Team will be trained in preparing implementing plans for training services.
3-4. C/P of RETPCs and the Project Team will be trained to learn basic techniques to develop and prepare educational contents for training services.
3-5. C/P of RETPC and the Project Team will conduct training services as an on-the-job training.

4-1. Equipment and facilities for IT will be installed at RETPCs and IETC for trade information and promotion services.
4-2. C/P of RETPCs and the Project Team will be trained for operating and maintaining the equipment and facilities.
4-3. C/P of the Project Team will be trained in preparing implementing plans for trade information and promotion services.
4-4. C/P of RETPCs and the Project Team will be trained to learn basic techniques for trade information and promotion services (including processing and dissemination of information).
4-5. C/P of RETPCs and the Project Team will conduct trade information and promotion services as an on-the-job training.
4-6. C/P of the Project Team will be trained in managing and utilizing IT and network applications in the area of trade promotion (virtual exhibition).

807

5-1. Equipment and supplies necessary to the provision of trade information and promotion services will be installed at RETPCs and IETC.

5-2. C/P of RETPCs and the Project Team will be trained for operation and maintenance of the equipment.

5-3. C/P of RETPCs and the Project Team will be given advice on the provision of trade information and promotion.

5-4. C/P of RETPCs and the Project Team will be trained to identify needs of SMEs in the trade information and promotion.

5-5. C/P of RETPCs and the Project Team will be trained to provide trade information and promotion services (permanent exhibition, mini-resource centers, and distribution of off-line information) in accordance with the needs of SMEs.

6-1. All relevant procedures for establishment of a RETPC will be recorded as the project proceeds.

6-2. Procedures will be classified into general (or common) and special procedures in the light of replication to other regions.

6-3. C/P at the Project Team will be trained for studying economic conditions and institutional characteristics in regions where a RETPC is to be set-up.

6-4. C/P at the Project Team will be trained to prepare a plan to establish a RETPC for the technology transfer.

44

**Cost Comparison Between Face to Face Training and
Distance Learning (3 days) based on efficiency of the lecturers cost**

I. Face to Face Training (in Jakarta, Surabaya, Medan & Makassar)

in Rupiah (Rp)

No	Cost Items	Jakarta	Surabaya	Medan	Makassar	Total
1.	Steering Committee & Moderator	900,000	900,000	900,000	900,000	-
2.	Material & Training kit	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	-
3.	Preparation, advertisement, evaluation, documentation, certificate & report	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	-
4.	Snack & lunch, opening & closing ceremony	4,900,000	4,900,000	4,900,000	4,900,000	-
	Sub Total	14,800,000	14,800,000	14,800,000	14,800,000	59,200,000
	Difference of Operation Cost					
1.	Lecturer fee 24 session x Rp. 150000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	-
2.	Making paper 6 x Rp 100.000	600,000	600,000	600,000	600,000	-
3.	Travelling cost (4 person)					
	Ticket for lecturer	-	6,036,000	10,640,000	11,024,000	-
	Lecturer accomodation	-	1,600,000	1,600,000	1,600,000	-
	Airport tax and transport	-	600,000	600,000	600,000	-
	Sub Total	4,200,000	12,436,000	17,040,000	17,424,000	51,100,000
	Total	19,000,000	27,236,000	31,840,000	32,224,000	110,300,000

Annex 8.1.2

II. Distance Learning (4 points in Jakarta, Surabaya, Medan & Makassar)

in Rupiah (Rp)

No	Cost Items	Jakarta site	Surabaya site	Medan site	Makassar site	Total
Similar operational cost						
1.	Steering Committee & Moderator	900,000	900,000	900,000	900,000	
2.	Material & Training kit	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	
3.	Preparation, advertisement, evaluation, documentation, certificate & report	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	
4.	Snack & lunch, opening & closing ceremony	4,900,000	4,900,000	4,900,000	4,900,000	
Different Operational Cost						
1.	Lecturer fee 24 session x Rp. 150000	3,600,000	-	-	-	-
2.	Making paper 6 x Rp. 100.000	600,000	-	-	-	-
3.	Traveling cost for lecturer	-	-	-	-	-
4.	DL technician	950,000	950,000	950,000	950,000	
5.	ISDN Pulsa (preparation & implementation)	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	
	Total	21,950,000	17,750,000	17,750,000	17,750,000	75,200,000

Based an efficiency of the lecturers cost, the differences between face to face training (in Jakarta, Surabaya, Medan & Makassar) and by Distance Learning (4 points in Jakarta, Surabaya, Medan & Makassar) is Rp. 35.100.000,- (32%)

ANNEX 8-2

COST OF RENTAL USE AND PURCHASING TV CONFERENCE EQUIPMENT

unit : US\$

ITEM	IETC		REGIONAL-EACH SITE	
	COST		COST	
	RENT-COST	PURCHASING	RENT-COST	PURCHASING
1. Video conference Group System		22,100		22,100
(1) 1 unit Picture Tel Concorde 4200, include :	2,250 /3 days (750.00/day x 3days)		2,250 /3 days (750.00/day x 5 days)	
- Electronic Box				
- Power mix				
- Power cam 100				
- IR Keypad				
- ISDN interface 2 x 64 kpbs				
- Option cost				
2. Audio Equipment (include :)	510 /3 days (170.00/day x 3 days)	3,500	510 /3days (170.00/day x 5 days)	3,500
- 1 Unit audio Mixer with Audioman				
- 4 Units Wired Mic with desk stand				
- 3 Units Wireless Mic				
- 1 Unit wireless mic				
3. Video Equipment (include :)	3,000 /3days (1,000.00/day x3 days)	15,000	3,000 /3days (1,000.00/day x3 days)	15,000
- 2 Units Camera with Cameraman)				
- 1 Unit Video Switcher)				
- 2 Units Video Distributo amp)				
- 3 Units 8" Monitor)				
- 3 Units 21" Monitor)				
- 2 vide tape recorder VHS)				
2 Unit LCD Projector with Screen	900 /3days(2 LCD)	10,000	900 /3days(2 LCD)	10,000
1 Unit Document Camera	225 /3days	3,500	225 /3days	3,500
1 Units VGA to Video Conveter	150 /3days	2,000	150 /3days	2,000
2 unit Lighting	150 /3days	4,000	150 /3days	4,000
5. Multi Conference Server Montage for 4 site	2,250 /3 days (750.00/day x 3days)	29,140		
6. ISDN Instalation				
Total (without ISDN) (US\$)	9,435	89,240	7,185	60,100

Expected Exchange rate 1 US\$ = Rp 10.000

pke/annexB-2

Operational of Distance Learning using TV Conference

No	Region	Fiscal Year							
		2002		2003		2004		2005	
		batch	part	batch	part	batch	part	batch	part
1.	Jakarta (IETC as a central point)	2	80	20	800	30	1200	36	1440
2.	Surabaya	2	80	20	800	24	960	24	960
3.	Medan	-	-	3	80	20	800	24	960
4.	Banjarmasin	-	-	2	80	15	600	15	600
5.	Makassar	-	-	-	-	3	120	20	800
	Total	2	160	20	1760	30	3680	36	4760

Note :

part = participants

In the first year RETPC will conduct 2 or 3 batches of Distance Learning program.

Distance Learning using TV Conference is optimally expected in 4 (four) points. Expected total batches of distance learning in Jakarta as a central point is 4 (four). The frequency of conducting distance learning will varies between Region and depends on the Region needs.

Annex 9-1 Tentative List of Equipment to be Provided by the Japanese side
(in Jakarta)

I. Network Equipment for Trade Information Service and Training in IETC

	Expected Equipment	Quantity	Remarks
A Computer			
1	Server	1	Database and file server (renewal of existing server)
2	Workstation	*4	2 unit for web design 2 unit for training material development
B Network facilities			
1	Switching 100/10 Hub	**3	1 unit for Project Team Room 1 unit for IETC Internet Room 1 unit for IETC Computer Room
C Others			
1	Printer	1	1 unit for material development
2	Digital Video Camera	1	for training material development
3	UPS	1	Suitable for 10 network devices
D Software			
1	Necessary Software		

* The number of workstations will be decided taking the number of C/P and J-Net equipment into account.

** The number of hubs will be decided based on the number of rooms where PCs are installed.

Se.7.

4/2

Annex 9-2 Tentative List of Equipment to be Provided by the Japanese side
(in RETPCs)

I. Network Equipment for Trade Information Service and Training in RETPC

Expected Equipment	Quantity	Remarks
A Computer		
1 Server	1	Database and file server
2 Workstation	*4 **20	1 unit for inquiry reply activities 1 unit for mini library services 2 unit for training material development 20 units for computer utilization training including internet training
B Network facilities		
1 Switching 100/10 Hub	2	1 unit for training/ seminar rooms 1 unit for management and administrative rooms
C Others		
1 Printer	2	1 unit for training, 1 unit for information/promotion services
D Equipment for training		
1 OHP	1	
2 White Board	4	for 4(four) training rooms
3 Direct projector	1	
4 Photocopy Machine	1	
5 Scanner	1	
6 Digital Still Camera	1	
7 Digital Video Camera	1	
8 UPS	1	Suitable for 10 network devices
E Software		
1 Necessary Software		

* The number will be decided taking the number of C/P into account.

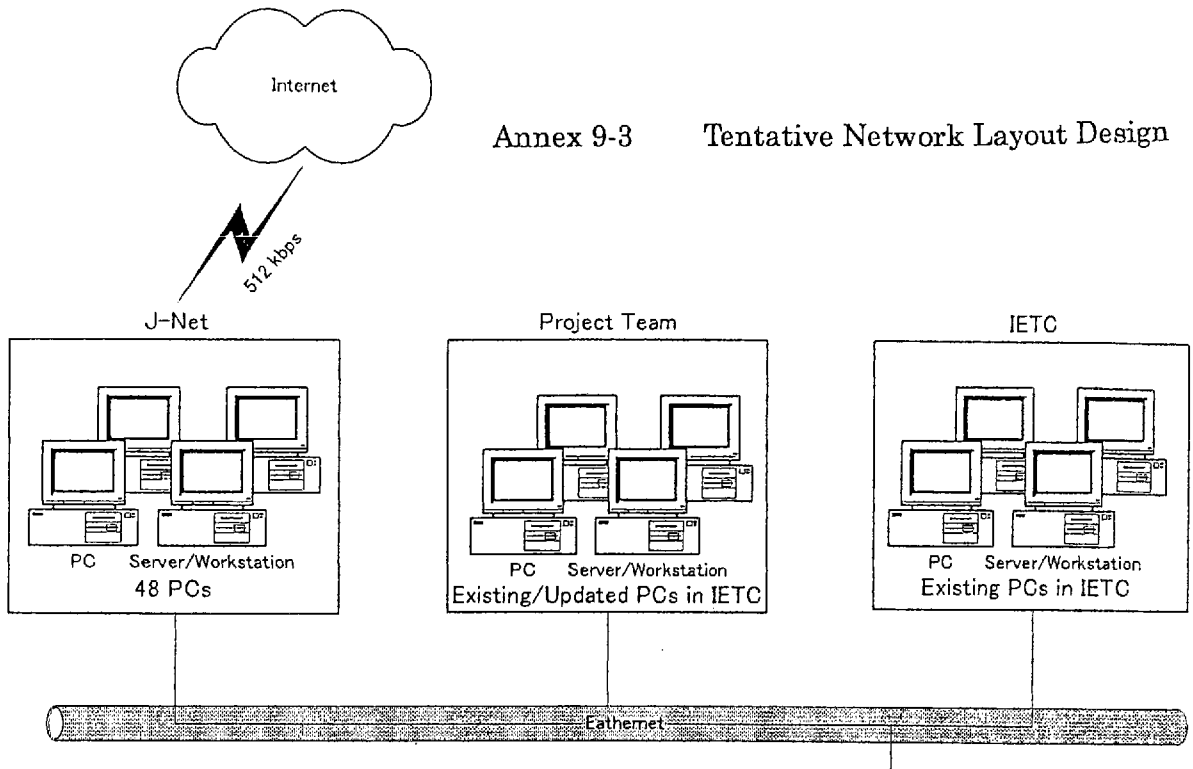
** Maximum 20, depends on the situation in respective regions.

II. Books for Mini Resource Center

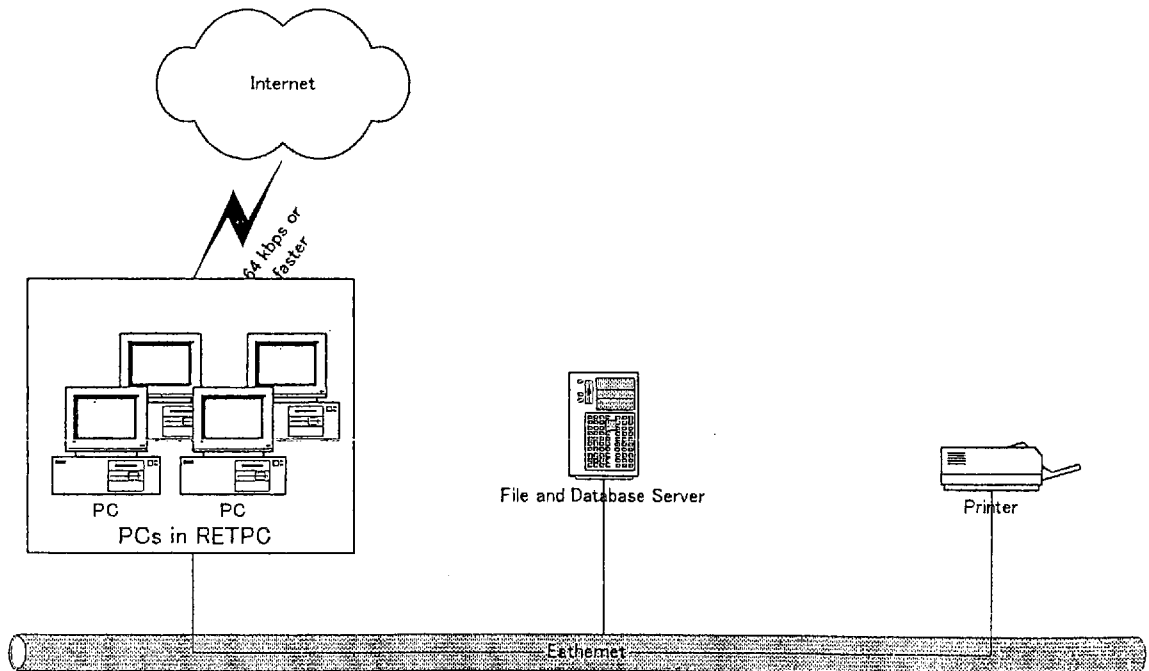
Handwritten signature

Handwritten signature

Annex 9-3 Tentative Network Layout Design



IETC Network Layout Design



RETPC Surabaya Network Layout Design

Handwritten signature

Handwritten initials

Annex 10. List of Counterpart Personnel from NAFED

NO.	NAME OF COUNTERPART	JOB DESCRIPTION
1.	Gunawan Sanusi	Information
2.	Hardjoko	Information
3.	Sjahril Sjafri	Promotion
4.	Widy Haryono	Promotion
5.	Sumardi Sam	Promotion
6.	Edison Hutabarat	IT
7.	Bambang Purnomo	IT
8.	Andang	IT

Handwritten signature

Handwritten initials

Annex 10

List of Counterpart Personnel from IETC

No	Name of Counterpart	Job Description
1	Maulani (Coordinator)	- To receive the transfer of knowledge on the training management for distance learning training - To transfer training management system to RETPC
2	Chandrini Mestika Dewi	
3	Susijanti	
4	Respati Dyah	
5	Denri Purba	
6	Viviarini	
7	Titik Farida (Coordinator)	To receive transfer of knowlegde in the curriculum development for distance learning
8	Wawan Sudarmawan	
9	Utari Kurnianingsih	
10	Handaya Retno	
11	Merry Maryati	
12	Abdilah Sani	
13	Ariful Fuadi (Coordinator)	To receive transfer of knowledge on the technical matters of distance learning technology
14	Irwan Syafrul	
15	Dyah Hesti	
16	Wijaya	
17	Didik Widjawati	
18	Ramdani	
19	Sukendro	
1	Pandu Mulyono (Coordinator)	Administrative Staff to lead and advice RETPC in operational management and administration
2	Mudjirah	
3	Yuyun Wahyuni	

**ADDITIONAL SUBSIDIARIES IN LINE WITH JICA FUND
FOR THE DEVELOPMENT OF
REGIONAL EXPORT TRAINING AND PROMOTION CENTER (RETPC)
IN SURABAYA**

A. SURABAYA BUDGET

1. Salary & Honorarium		
▪ Director of RETPC : 1 person x 10 months x Rp. 2.000.000	Rp. 20.000.000	
▪ Export Training Coordinator 1 person x 10 month x Rp. 1.000.000	Rp. 10.000.000	
▪ Business Consultation Coordinator 1 person x 10 month x Rp. 1.000.000	Rp. 10.000.000	
		Rp 40.000.000
2 Office facilities		
Forms, toner, etc 12 month x Rp. 2.500.000		Rp. 30.000.000
3. Travelling		
▪ Local travelling 3 persons x 12 month x 100.000	Rp. 3.600.000	
▪ Director of RETPC and 2 coordinators from Jakarta to Surabaya		
* Ticket 3 persons x 1 x Rp. 400.000	Rp 1.200.000	
* Lumpsum/accomm. 3 persons x 1 x 14 days x Rp 150.000	Rp 16.000.000	
▪ Director of RETPC and 2 coordinator from Surabaya to Jakarta (returns) in order to Joint Coordinating Committee Meeting		
* Ticket 3 persons x 3 x Rp. 400.000	Rp 3.600.000	
* Lumpsum/accomm. 3 persons x 3 x 4 days x Rp. 150.000	Rp. 5.400.000	
		Rp. 29.800.000
4. Land & Building		
▪ Renovation fund		Rp. 400.000.000
5. Others		
▪ In House Training for RETPC staffs In Surabaya 3 paket x Rp. 5.000.000	Rp 15.000.000	
▪ OJT Staff from Surabaya to Jakarta for 10 days (2 persons) 2 persons x 10 days x Rp. 75.000	Rp 1.500.000	
▪ Handling Custom Preparation from Jepang 1 package x 12 month x Rp. 1000.000	Rp 12.000.000	
▪ Hardware & software IT transportation to Surabaya 1 package x 3 l x Rp.3.000.000	Rp 9.000.000	
▪ Rent House for Director of RETPC and 2 coordinators 3 persons x 1 year x Rp. 5.000.000	Rp 15.000.000	
▪ Entertainment meeting 25 org x 1 hr x Rp.40.000	Rp. 1.000.000	
▪ Mini Library requirement 1 package x 1 x Rp 25.000.000	Rp 25.000.000	

Handwritten signature

Handwritten initials

▪ Buyer Reception Desk (BRD) Service 1 package x Rp 23.940.000	Rp 23.940.000	
▪ Librarian services : 1 package x Rp 13.660.000	Rp 13.660.000	
RETPC Editing Program : 1 package x Rp 25.000.000	Rp 25.000.000	
Business Contact 1 package x Rp 29.714.000	Rp 29.714.000	
▪ Information Services for Exporters 1 package x Rp 34.070.000	Rp 34.070.000	
▪ RETPC report and evaluation 1 package x Rp 15.000.000	Rp 15.000.000	
		Rp 219.884.000

6. Maintenance & machinery

▪ Maintenance for computer network (Service, cleaning, network) 1 pkt x 12 bln x Rp.2.000.000	Rp 25.000.000	
▪ Equipment display (Exhibition) 1 pkt x 1 kl x Rp 15.000.000	Rp 15.000.000	
▪ (cleaning service), etc. 1 pkt x 12 bln x Rp 1.500.000	Rp 18.000.000	
▪ Cars procurement 1 unit x 1 package x Rp 150.000.000	Rp 150.000.000	
▪ Computer and printer procurement 2 unit x 1 package x Rp 9.000.000	Rp 18.000.000	
▪ Telephone line - Line Procurement : 1 package x Rp 1.000.000 (2 lines)	Rp 1.000.000	
- Airtime/pulsa 2 package x Rp 2.000.000	Rp 48.000.000	
▪ Water/electricity 1 x 12 month x Rp 2.500.000	Rp 30.000.000	
		Rp 305.000.000
TOTAL A		Rp 1.024.684.000

B. CENTRAL BUDGET

1. Salary & Honorarium

▪ Honor Project Team		
- Director 1 person x 12 month x Rp. 275.000	Rp. 3.300.000	
- Vice Director 1 persons x 12 month x Rp. 250.000	Rp. 3.000.000	
▪ Honor Counterpart 25 persons x 12 month x Rp. 100.000	Rp. 24.000.000	
▪ Honor Sekretariat 6 persons x 12 month x Rp. 75.000	Rp. 5.400.000	
		Rp 35.700.000

2. Travelling

▪ Followed traveling for 3 regions (Medan, Banjarmasin dan Makassar).		
* Ticket 5 pers x 2 x 3 x Rp2.573.000	Rp. 77.190.000	
* Lumpsum 5 pers x 2 x 3 x 4 days x Rp. 150.000	Rp 18.000.000	

Ac. D.

hp

▪ Feasibility study to Yogyakarta and Padang			
* Ticket	5 pers x 2 x 2 x Rp 1.591.300	Rp	31.826.000
* Lumpsum	5 pers x 2 x 2 x 4 days x Rp. 150.000	Rp	12.000.000
▪ Supervise traveling to Surabaya			
* Ticket	3 persons x 3 x Rp.400.000	Rp	3.600.000
* Lumpsum	3 persons x 3 x 4 days x Rp 150.000	Rp	5.400.000
▪ Travelling in order to trial Distance Learning training			
For 2 persons			
* Ticket	2 persons x 2 x Rp. 400.000	Rp	1.600.000
* Lumpsum	2 persons x 2 x 14 days x Rp. 150.000	Rp	2.400.000
		Rp	152.016.000

3. Others

▪ Consumption for meeting	15 persons x 12 x Rp. 20.000	Rp	3.600.000
▪ Joint Coordinating Committee with JICA Team			
Consumption for meeting	40 persons x 5 regions x Rp. 40.000	Rp.	8.000.000
▪ Dinner party	50 persons x Rp. 100.000	Rp.	5.000.000
▪ Press Conference	10 persons x Rp. 100.000	Rp.	1.000.000
▪ Honor for meeting	40 persons x 5 days x Rp.40.000	Rp	8.000.000
Counterpart meals	20 persons x 4 x 10 month x Rp.15.000	Rp	12.000.000
		Rp	37.600.000

TOTAL B Rp 225.316.000

GRAND TOTAL (A + B) Rp 1.250.000.000

SAYS : ONE THOUSAND AND TWO HUNDRED FIFTY MILLION RUPIAHS

Handwritten signature

Handwritten signature

Annex 12 Schedule of Budget Request and Allocation for the Project on the Indonesian Side

Japanese FY	2001			2002												2003												2004												2005		
CY and Indonesian FY	2001		2002												2003												2004												2005			
Month	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
JICA																																										
Conclusion of R/D																																										
Request for Budget																																										
Approval of Budget																																										
Allocation of Budget																																										
Procurement of Contractor																																										
Renovation Work																																										
Preparation for RETPC																																										
Set-up of RETPC																																										
Provincial Government																																										
Request for Budget																																										
Approval of Budget																																										

Handwritten initials: SC

Handwritten number: 3/4

Annex 12

Procedure on Preparation Budget
(Case F.Y 2001)

- June - Meeting between National Budget Committee and Ministry of Finance to discuss on :
- Macro assumption and prioritize of activities
 - Discusses Ministerial level proposal
- September - National Budget Committee Meeting with Ministries for finalization draft National budget
- October President reports to Parliament for National budget
- November Approval for National budget by Parliament (by law)

Pke-annex12



Plan of Operation (PO) PDMver.2.1対応
for the Establishment of Regional Export Training & Promotion Centers

Activities	Schedule																				
	CY2002				CY2003				CY2004				CY2005				CY2006				
	01	II	III	IV	01	II	III	IV	01	II	III	IV	01	II	III	IV	01	II	III	IV	
Terms of Technical Cooperation																					
1 Management and operation system of the project is established at respective RETPCs to provide export training and information/promotion services through collaboration with the Project Team.																					
1-1 NAFED and IETC will jointly organize the Project Team, assign C/P and allocate the budgets for the Project.	Surabaya				Medan				Banjarmasin												
	Jakarta				Makassar																
1-2 RETPCs will be established in Surabaya, Medan, Makassar and Banjarmasin.	Surabaya				Medan				Banjarmasin												
					Makassar																
1-3 RETPCs will prepare medium-and short-term management and operation plans for RETPCs, assign C/P and receive allocation of budgets for operating costs of the centers in accordance with the plans.	Surabaya				Medan				Banjarmasin												
					Makassar																
1-4 RETPCs and the Project Team will carry out public relations of the project.																					
1-5 RETPCs and the Project Team will build up a close communication channel for the smooth implementation of the project.																					
2 C/P at RETPCs are skilled in managing export training services																					
2-1 Technology transfer of a set of skills and know-how for planning and management of training courses to C/P at RETPCs.																					
2-2 Training needs survey and its analysis will be conducted in respective regions.																					
2-3 C/P at RETPCs will be trained in planning and managing training courses based on results of the local needs survey.																					
2-4 Adjustment will be made on existing educational contents to be used for training courses at RETPCs, based on the results of local needs survey in respective regions.																					
2-5 C/P at RETPCs will be trained in implementing training courses under the instruction and supervision of C/P dispatched from the Project Team.																					
3 C/P at RETPCs and the Project Team are skilled in utilizing IT, including distance learning techniques, for training services.																					
3-1 Equipment and facilities for information technologies will be installed at RETPCs and the Project Team for training services.	Surabaya				Medan				Banjarmasin												
	Jakarta				Makassar																
3-2 C/P of RETPCs and the Project Team will be trained for operating and maintaining the equipment and facilities.																					
3-3 C/P of the Project Team will be trained in preparing implementing plans for training services.																					
3-4 C/P of RETPCs and the Project Team will be trained to learn basic techniques to develop and prepare educational contents for training services.																					
3-5 C/P of RETPCs and the Project Team will conduct training services as a on-the-job-training.																					
4 C/P at RETPCs and the Project Team are skilled in utilizing IT for trade information and promotion services.																					
4-1 Equipment and facilities for information technologies will be installed at IETC and RETPCs for trade information and promotion services.	Surabaya				Medan				Banjarmasin												
	Jakarta				Makassar																
4-2 C/P of RETPCs and the Project Team will be trained for operating and maintaining the equipment and facilities.																					
4-3 C/P of the Project Team will be trained in preparing implementing plans for trade information and promotion services.																					
4-4 C/P of RETPCs and the Project Team will be trained to learn basic techniques for trade information and promotion services(including processing and dissemination of information).																					
4-5 C/P of RETPCs and the Project Team will conduct trade information and promotion services as a on-the-job-training.																					
4-6 C/P of the Project Team will be trained in managing and utilizing IT and network applications in the area of trade.																					

Handwritten signature

Handwritten signature

Activities	Schedule																				
	CY2002				CY2003				CY2004				CY2005				CY2006				
	JFY2002				FY2003				FY2004				FY2005				FY2006				
	O1	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	
5 C/P at RETPCs are skilled in managing trade information and promotion services.																					
5-1 Equipment and supplies necessary to the provision of trade information and promotion services will be installed at RETPCs and IETC.																					
5-2 C/P of RETPCs and the Project Team will be trained for operation and maintenance of the equipment.																					
5-3 C/P of RETPCs and the Project Team will be given advice on the provision of trade information and promotion.																					
5-4 C/P of RETPCs and the Project Team will be trained to identify needs of SMEs in the trade information and promotion.																					
5-5 C/P of RETPCs and the Project Team will be trained to provide trade information and promotion services (mini-resource centers, exhibition, etc.) in accordance with the needs of SMEs.																					
6 C/P at the Project Team obtain know-how of replicating capacity building programs of RETPCs into other regions.																					
6-1 All relevant procedures for establishment of a RETPC will be recorded as the project proceeds.																					
6-2 Procedures will be classified into general (or common) and special procedures in the light of replicabilities to other regions.																					
6-3 C/P at the Project Team will be trained for studying economic and institutional conditions in regions where a RETPC is to be set-up.																					
6-4 C/P at the Project Team will be trained to prepare a plan to establish a RETPC for the technology transfer.																					

- *1: Person, equipment and other input necessary for implementation the activities
- *2: Program commence in 2002 and will be completed in 2006.
- *3. Japanese fiscal year starts in April and end in March.
- *4. Indonesian fiscal year starts in January and end in December.

Handwritten signature

Handwritten initials

Annex14
Tentative Schedule of Implementation (TSI)
for the Establishment of Regional Export Training & Promotion Center

Calendar Year	2001				2002				2003				2004				2005				2006							
	Fiscal Year				FY2001				FY2002				FY2003				FY2004				FY2005				FY2006			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
Term of Technical Cooperation																												
Japanese Side																												
1. Dispatch of Study Team																												
1-1. First Preparatory Study Team																												
1-2. Second Preparatory Study Team																												
1-3. Project Design Team																												
1-4. Project Consultation Team																												
1-5. Mid-term Evaluation Team																												
1-6. Project Evaluation Team																												
2. Dispatch of Long-term Expert																												
2-1. Chief Advisor																												
2-2. Coordinator																												
3. Short Term Experts																												
Necessary number of short-term experts will be dispatched at appropriate time.																												
4. Training of C/P Personnel																												
4-1. In Japan																												
4-2. In Jakarta																												
4-3. at RETPC by NAFED/IETC																												
5. Provision of Equipment and Machinery																												
5-1. Equipment for distance learning and training such as PCs																												
5-2. Materials for information dissemination such as books																												
Indonesian Side																												
1. C/P Personnel																												
by NAFED/IETC																												
1-1 project team																												
1-2. Allocation of C/P Personnels for RETPCs by NAFED/IETC																												
for first RETPC (Surabaya)																												
for second RETPC (Medan)																												
for third RETPC (Makassar)																												
for fourth RETPC (Banjarmasin)																												
by Local government																												
1-3. Allocation of necessary staff for RETPCs																												
for RETPC (Surabaya)																												
for RETPC (Medan)																												
for RETPC (Makassar)																												
for RETPC (Banjarmasin)																												
2. Facilities																												
by Local government																												
Offices, facilities and supplies for RETPCs																												
for RETPC (Surabaya)																												
for RETPC (Medan)																												
for RETPC (Makassar)																												
for RETPC (Banjarmasin)																												
3. Allocation of local cost																												
by NAFED																												
3-1. Project budgets																												
for RETPC (Surabaya)																												
for RETPC (Medan)																												
for RETPC (Makassar)																												
for RETPC (Banjarmasin)																												
3-2. Renovation cost for RETPC and allowance/travel expenses of dispatched personnel to RETPCs.																												
for RETPC (Surabaya)																												
for RETPC (Medan)																												
for RETPC (Makassar)																												
for RETPC (Banjarmasin)																												
by Local government																												
3-3. Operation cost of RETPCs (incl. maintenance of building, training and trade promotion facilities)																												
for RETPC (Surabaya)																												
for RETPC (Medan)																												
for RETPC (Makassar)																												
for RETPC (Banjarmasin)																												

- Note
1. Japanese fiscal year starts in April and ends in March.
 2. Indonesian fiscal year starts in January and ends in December.
 3. This schedule is subject to change in according with the progress of the Project.
 4. This project will commence in 2002 and will be completed in 2006.

Annex 15 List of Attendants

Japanese Side

1. Preparatory Study Team
 - Mr. Hidetoshi TAKAMA Leader
 - Mr. Takeo FUKATSU Technology Transfer Planning
 - Mr. Toshio ASAKURA Trade Promotion
 - Mr. Tomoaki TOKUMURA Distance Learning Technology
 - Ms. Asuka OKAYAMA Cooperation Planning
 - Mr. Tomoo MOCHIDA Program Analysis
2. The Human Resource Development in Trade Sectors Project
 - Mr. Shoji KOMURA Long-term Expert
 - Mr. Shigeki SUGIYAMA Short-term Expert
3. JICA Indonesia Office
 - Mr. Hisao ANDO Assistant Resident Representative
4. JICA Experts
 - Mr. Tsutomu NAGAE JICA Expert on Industrial Development Promotion

Indonesian Side

1. National Agency for Export Development (NAFED)
 - Mr. Gusmardi Bustami Chairman
 - Mr. Fauzi Aziz Secretary
 - Ms. Nus Nuzulia Ishak Director, Center for Export Information and Training (CEIT)
 - Mr. Sjahril Sjafri Head of Information Services and Export Training Division, CEIT
 - Mr. Gunawan Sanusi Head of Collecting and Processing Data Div., CEIT
 - Mr. Edison Hutabarat Head of Information Network and Database Div., CEIT
 - Mr. Ari Satria Head of Cooperation Sub-division, Secretariat of NAFED
 - Mr. Sjahril Nazar Head of Database Sub-division, CEIT
 - Mr. Sahala Aritonang Head of Administration Sub-division, CEIT
 - Ms. Dwi Rahayu Head of Collecting Data Sub-division, CEIT
 - Ms. Sri Maryuni Head of Information Services Sub-division, CEIT
 - Mr. Bambang Purnomo Staff in CEIT
2. Indonesia Export Training Center (IETC)
 - Ms. Ratna Djuwita Director
 - Mr. Maulani Head of Cooperation and Promotion Section
 - Ms. Utari Kurnianingsih Export Marketing Training
 - Drs. Wawan Sudarmawan Instructor
 - Ms. Susijanti Consultation Coordinator
 - Mr. Ariful Fuadhi Instructor



2-8 収集資料リスト

2-8 インドネシア貿易研修センター（地方展開）第2次短期調査 収集資料リスト

No.	資料名	収集先
1	Profil dan Potensi Negara Rempah-Rempah di Hongaria (貿易情報パンフレット)	NAFED
2	Petunjuk Pasar Produk Karet Alam di Pakistan (貿易情報パンフレット)	NAFED
3	Profil dan Potensi Negara Produk Kertas di Myanmar (貿易情報パンフレット)	NAFED
4	Economic Benefits from an AFTA-CER Free Trade Area (Year 200 Study)	Center for International Economics
5	Let Us Help You (NAFED プロシユア)	NAFED/PERSERO
6	A Study on Establishment of Regional Export Training and Promotion Center	ECONIT Advisory Group and JICA Indonesian Office
7	商工省組織図	MOIT
8	IETC 組織図 (組織改革後の計画)	IETC
9	輸出統計 (東ジャワ州、南スラベシ州、北スマトラ州、南カリマンタン州)	NAFED
10	Indonesia's Technical Assistance and Training Program, Successes to Date (WB 事業)	MOIT
11	Background of TATP Project (WB 事業)	MOIT
12	IETC's Training Program in 1999/2000, 2000/2001	IETC
13	NAFED Annual Report 1996	NAFED
14	Bank Mandiri, Program Kemitraan Terpadu (PKT) (融資プログラムプロシユア)	KADIN Jakarta
15	Organization Structure Regional Industry & Trade Office (DINAS) East Java Province	東ジャワ州商工部
16	Jakarta Chamber of Commerce & Industry (プロシユア)	KADIN Jakarta
17	Large and Medium Manufacturing Statistics of South Kalimantan 1998	JICA インドネシア事務所
18	Statistik Industri Besar dan Sedang, Propinsi Sulawesi Selatan Tahun 1997	JICA インドネシア事務所
19	Statistik Industri, Besar dan Sedang, Large and Medium Manufacturing Statistics, Sumatera Utara 1997	JICA インドネシア事務所
20	Statistik Industri Besar dan Sedang di Jawa Timur 1998	JICA インドネシア事務所
21	United Nations Development Programme, Project of the Government of Indonesia, Project Document: Export Promotion Services for Small and Medium Enterprises	NAFED
22	Laporan Akhir Pelaksanaan, Proyek Export Promotion Services for Small and Medium Enterprises (SMEs) INS/93/008 September 1994 - Mei 1999 (UNDP プロジェクトの評価)	NAFED
23	Large and Medium Manufacturing Statistics Indonesia 1999 Volume 1	BPS (中央統計局)
24	Large and Medium Manufacturing Indicator Indonesia 1999	BPS (中央統計局)
25	Indonesia Export and Balance of Trade 2001	NAFED
26	Indonesian Export by ISIC Code, Ekspor/Exports 1999-2000	BPS (中央統計局)
27	Proposed IFC Participation in and Contribution to the Indonesia Business Support Program, Indonesia, Project No.10824, February 21, 2001	JICA インドネシア事務所
28	Company Profile East Java, Tahun, Anggaran 1999/2000	東ジャワ州商工部
29		
30		

